



ユーザー ガイド

概要

このガイドでは、コンポーネント、機能、ネットワーク、および HP リソースなどのトピックを含む、この製品の使用およびアップグレードに関する基本的な情報について説明します。

法的情報

© Copyright 2024 HP Development Company, L.P.

AMD は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて HP Inc.が使用しています。Intel および Thunderbolt は、Intel Corporation およびその関連会社の米国およびその他の国における商標です。Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。USB Type-C および USB-C は、USB Implementers Forum, Inc.の商標または登録商標です。DisplayPort™ および DisplayPort™ ロゴは、Video Electronics Standards Association (VESA®) が所有する米国およびその他の国における商標です。Miracast® は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2025 年 2 月

製品番号：P24169-291

DTS の特許については、

<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS Licensing Limited からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマーク、および DTS とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。また、DTS Sound は、DTS, Inc. の商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved 

DTS の特許については、

<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS Licensing Limited からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマーク、および DTS とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。また、DTS Studio Sound は DTS, Inc. の商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved 

DTS の特許については、

<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS Licensing Limited からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマーク、および DTS とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。また、DTS Sound+ は DTS, Inc. の商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved 

DTS の特許については、
<http://patents.dts.com> を参照してください。
DTS Licensing Limited からの実施権に基づき製造されています。Play-Fi およびそのアイコンは、DTS, LLC の商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved 

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

Windows のエディションまたはバージョンによっては、一部の機能を使用できない場合があります。システムで Windows の機能を最大限に活用するには、アップグレードされた、または別売りのハードウェア、ドライバー、ソフトウェア、または BIOS アップデートが必要になる場合があります。Windows は自動的に更新され、自動更新は常に有効になっています。高速インターネット接続および Microsoft のアカウントが必要です。更新中にプロバイダー料金がかかったり追加要件が適用されたりすることがあります。<http://www.windows.com> を参照してください。製品に S モードの

Windows が搭載されている場合、S モードの Windows は、Windows 内の [Microsoft Store] のアプリのみを実行します。初期設定、機能、およびアプリの中には変更できないものがあります。Windows と互換性のある一部の付属品やアプリの中には実行できないもの（一部のアンチウイルスソフトウェア、PDF ライター、ドライバーユーティリティ、およびアクセシビリティアプリを含みます）があり、S モードを解除した場合でもパフォーマンスが異なることがあります。一度 Windows に切り替えると、S モードに戻ることはできません。詳細は Windows.com/SmodeFAQ でご確認ください。

最新版のユーザー ガイドを確認するには、<http://www.hp.com/support> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。
[セットアップとユーザー ガイド] を選択します。

このドキュメントに関するご意見やご提案などお気づきの点がございましたら、<mailto:hp.doc.feedback@hp.com> 宛てに電子メールでお知らせくださいますようお願ひいたします。その場合は、当該ドキュメントの製品番号をご明記ください。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様は HP 使用許諾契約 (EULA) の条件に従うこととに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品 (ハードウェアおよびソフトウェア) を 14 日以内に返品し、販売店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの代金の返金を要求する場合は、販売店に問い合わせてください。

安全に関するご注意

以下に説明されている使用方法を守ることによって、低温やけどやコンピューターが過熱状態になる可能性を減らすことができます。

- △ **警告！** 低温やけどやコンピューターが過熱状態になるおそれがありますので、ひざなどの体の上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、硬く水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、外部電源アダプターの動作中に長時間外部電源アダプターを皮膚、または枕や毛布、衣類などの表面が柔らかいものに接触させないでください。HP が提供するコンピューターおよび外部電源アダプターは、この製品に適用される安全規格で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に適合しています。

プロセッサの構成設定（一部の製品のみ）

プロセッサの構成に関する重要な情報について説明します。

-  **重要：**一部の製品のコンピューターは、インテル®Pentium®プロセッサー N35xx/N37xx シリーズまたはインテル Celeron®プロセッサー N28xx/N29xx/N30xx/N31xx シリーズおよび Windows®オペレーティングシステムで構成されています。お使いのコンピューターが説明のとおりに構成されている場合は、`msconfig.exe` で 4 または 2 に設定されているプロセッサの構成を、1 に変更しないでください。変更すると、コンピューターが再起動しなくなります。元の設定に戻すには、出荷時設定の復元が必要になります。
-

目次

1 このガイドについて	1
2 お使いになる前に	2
情報の確認	2
3 各部の名称と機能概要	5
ハードウェアの確認	5
ソフトウェアの確認	5
右側面の各部	5
左側面の各部	6
ディスプレイの各部	8
低ブルーライトモード（一部の製品のみ）	8
キーボードの各部	10
タッチパッド	10
タッチパッドの設定	10
タッチパッド設定の調整	10
タッチパッドの有効化	10
タッチパッドの各部	10
ランプ	11
ボタン、スピーカー、および指紋認証システム	13
特別なキー	14
操作キー	15
ホットキー（一部の製品のみ）	17
裏面の各部	17
ラベル	18
4 ネットワーク接続	20
無線ネットワークへの接続	20
無線コントロールの使用	20
無線ボタン	20
オペレーティングシステムの制御機能	20
無線 LAN への接続	21
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部の製品および一部の国や地域のみ）	21
モバイル事業者の設定の確認	22
HP モバイル ブロードバンドでの接続	22
eSIM の使用（一部の製品のみ）	22
GPS の使用（一部の製品のみ）	23
Bluetooth 無線デバイスの使用（一部の製品のみ）	23
Bluetooth デバイスの接続	23

NFC を使用した情報の共有 (一部の製品のみ)	24
有線ネットワークへの接続.....	24
ローカルエリアネットワーク (LAN) への接続 (一部の製品のみ)	24
[HP LAN-Wireless Protection]の使用 (一部の製品のみ)	25
[HP MAC Address Pass Through]の使用 (一部の製品のみ)	26
5 画面の操作.....	27
タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャの使用.....	27
タップ	27
2本指ピンチズーム	28
2本指スクロール (タッチパッドおよび高精度タッチパッド)	28
2本指タップ (タッチパッドおよび高精度タッチパッド)	28
3本指タップ (タッチパッドおよび高精度タッチパッド)	28
4本指タップ (タッチパッドおよび高精度タッチパッド)	29
3本指スワイプ (タッチパッドおよび高精度タッチパッド)	29
4本指スワイプ (高精度タッチパッド)	29
1本指スライド (タッチスクリーン)	30
別売のキーボードまたはマウスの使用.....	30
スクリーンキーボードの使用 (一部の製品のみ)	30
6 エンターテインメント機能.....	32
カメラの使用 (一部の製品のみ)	32
オーディオの使用.....	32
スピーカーの接続.....	32
ヘッドフォンの接続.....	33
ヘッドセットの接続.....	33
サウンド設定の使用	33
サウンド設定の表示または変更	33
コントロールパネルを使用したオーディオ設定の表示および調整.....	33
動画の視聴	34
USB Type-C ケーブルを使用した DisplayPort デバイスの接続 (一部の製品のみ)	34
USB Type-C ケーブルを使用した Thunderbolt デバイスの接続 (一部の製品のみ)	35
VGA ケーブルを使用したビデオデバイスの接続 (一部の製品のみ)	36
HDMI ケーブルを使用したビデオデバイスの接続 (一部の製品のみ)	37
HDMI を使用した HD 対応のテレビまたはモニターの接続.....	37
HDMI オーディオの設定	38
HDMI オーディオの有効化	38
HDMI オーディオの無効化	38
マルチストリームトランスポートを使用した有線ディスプレイの検出および接続.....	38
別売のハブを使用した、AMD または NVIDIA グラフィックス搭載コンピューターへのディスプレイの接続.....	39
別売のハブを使用した、Intel グラフィックス搭載コンピューターへのディスプレイの接続	39
ハブを内蔵した、インテル グラフィックス搭載コンピューターへのディスプレイの接続	39
Miracast 対応無線ディスプレイの検出および接続 (一部の製品のみ)	40

データ転送の使用	40
USB Type-C ポートへのデバイスの接続 (一部の製品のみ)	41
7 電源の管理	42
スリープおよび休止状態の使用	42
スリープの開始および終了	42
休止状態の開始および終了 (一部の製品のみ)	43
コンピューターのシャットダウン	43
[電源]アイコンの使用	44
バッテリ電源での動作	44
HP ファストチャージの使用 (一部の製品のみ)	45
バッテリ充電残量の表示	45
[HP Support Assistant]でのバッテリ情報の検索 (一部の製品のみ)	45
バッテリの節電	45
ロー バッテリ状態の確認	45
ロー バッテリ状態への対処	46
外部電源を使用できる場合のロー バッテリ状態への対処方法	46
外部電源を使用できない場合のロー バッテリ状態への対処方法	46
休止状態を終了できない場合のロー バッテリ状態への対処方法	46
出荷時に搭載されているバッテリ	46
外部電源での駆動	47
8 セキュリティ	48
コンピューターの保護	48
パスワードの使用	49
Windows でのパスワードの設定	49
[Computer Setup]でのパスワードの設定	50
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理	50
新しい BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の設定	51
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の変更	51
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の削除	52
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力	52
DriveLock のセキュリティ オプションの使用	53
自動 DriveLock の選択 (一部の製品のみ)	53
自動 DriveLock の有効化	53
自動 DriveLock の無効化	54
自動 DriveLock パスワードの入力	54
手動 DriveLock の選択	55
DriveLock の master password (マスター パスワード) の設定	55
DriveLock の有効化および DriveLock の user password (ユーザー パスワード) の設定	56
DriveLock の無効化	57
DriveLock パスワードの入力	57
DriveLock パスワードの変更	57
[Windows Hello] (一部の製品のみ)	58

ウィルス対策ソフトウェアの使用	58
ファイアウォールソフトウェアの使用	59
ソフトウェア更新プログラムのインストール	59
[HP Client Security]の使用 (一部の製品のみ)	60
[HP TechPulse]の使用 (一部の製品のみ)	60
別売のセキュリティロックケーブルの使用 (一部の製品のみ)	60
指紋認証システムの使用 (一部の製品のみ)	60
9 メンテナンス	61
パフォーマンスの向上	61
[ディスク デフラグ]の使用	61
[ディスク クリーンアップ]の使用	61
[HP 3D DriveGuard]の使用 (一部の製品のみ)	61
[HP 3D DriveGuard]の状態の確認	62
プログラムおよびドライバーの更新	62
コンピューターの清掃	62
[HP Easy Clean]の有効化 (一部の製品のみ)	62
コンピューターからの汚れやごみの除去	63
消毒液を使用したコンピューターの清掃	64
木製部材のお手入れ (一部の製品のみ)	64
コンピューターの持ち運びまたは送付	65
10 バックアップおよび復元	67
情報のバックアップおよびリカバリ メディアの作成	67
Windows ツールを使用したバックアップの作成	67
[HP Cloud Recovery Download Tool]を使用したリカバリ メディアの作成 (一部の製品のみ)	67
システムの回復および復元	68
システムの復元の作成	68
回復および復元方法	68
[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用した復元	68
コンピューターのブート順序の変更	69
[HP Sure Recover]の使用 (一部の製品のみ)	69
11 [HP Computer Setup] (BIOS)、TPM、および[HP Sure Start]	71
[HP Computer Setup]の使用	71
[Computer Setup]での移動および選択	71
[HP Computer Setup]の工場出荷時設定の復元	72
BIOS の更新	72
BIOS のバージョンの確認	72
BIOS の更新準備	73
BIOS 更新プログラムのダウンロード	73
BIOS 更新プログラムのインストール	74
[f9]の画面を使用したブート順序の変更	74

TPM BIOS の設定 (一部の製品のみ)	74
[HP Sure Start]の使用 (一部の製品のみ)	75
12 [HP PC Hardware Diagnostics]の使用	76
Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の使用 (一部の製品のみ)	76
Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のハードウェア障害 ID コードの使用	76
Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]へのアクセス	76
[HP Support Assistant]からの Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]へのアクセス	76
[スタート]メニューからの Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]へのアクセス (一部の製品のみ)	77
Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード	77
HP からの最新バージョンの Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード	77
[Microsoft Store]からの Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード	77
製品名または製品番号を使用した Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード (一部の製品のみ)	78
Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のインストール	78
UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の使用	78
UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のハードウェア障害 ID コードの使用	78
UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の起動	79
[HP Hotkey Support]ソフトウェアを使用した UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の起動 (一部の製品のみ)	79
UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の USB フラッシュ ドライブへのダウンロード	80
最新バージョンの UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード	80
製品名または製品番号を使用した UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード (一部の製品のみ)	80
[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]設定の使用 (一部の製品のみ)	81
[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]のダウンロード	81
最新バージョンの[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]のダウンロード	81
製品名または製品番号による[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]のダウンロード	81
[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]設定のカスタマイズ	81
13 仕様	83
入力電源	83
動作環境	83
14 静電気対策	85
15 ユーザー サポート	86
HP とユーザー サポート	86
必要なテクノロジツールの確認	86
HP の取り組み	86
IAAP (International Association of Accessibility Professionals)	87
最適な支援技術の確認	87
ご自身のニーズの評価	87
HP 製品のユーザー サポート	87

標準および法令	88
標準.....	88
Mandate 376 - EN 301 549 (欧州連合向け)	88
WCAG (Web Content Accessibility Guidelines)	88
法令および規制.....	89
ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク	89
組織 (英語のみ)	89
教育機関 (英語のみ)	89
障がいに関するその他のリソース (英語のみ)	90
HP のリンク	90
サポート窓口へのお問い合わせ	90
索引.....	91

1 このガイドについて

このガイドでは、この製品の使用およびアップグレードの基本的な手順などについて説明します。

- △ **警告！**回避しなければ重傷または死亡に至る可能性のある危険な状況を示します。
- △ **注意：**回避しなければ軽度または中度の傷害に至る可能性のある危険な状況を示します。
- **重要：**重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
- ☑ **注記：**本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
- 💡 **ヒント：**タスクを完了させるために役立つヒントを示します。



HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI®テクノロジーが搭載されています。

2 使いになる前に

このコンピューターは、ビジネスのシーンでもエンターテインメントのシーンでも存分に活用できるように設計されたパワフルなツールです。この章では、コンピューターのセットアップ後の最適な使用方法および HP が提供するさまざまな情報の入手方法などについて説明しています。

最大限に活用するため、コンピューターのセットアップおよび登録が終了したら、以下の手順を行うことをおすすめします。

ヒント：開いているアプリケーションまたは Windows®デスクトップからコンピューターのスタート画面にすばやく戻るには、キーボードの Windows キーを押します。Windows キーをもう一度押すと、前の画面に戻ります。

- **インターネットへの接続**：インターネットに接続できるように、有線ネットワークまたは無線ネットワークをセットアップします。詳しくは、[20 ページの「ネットワーク接続」](#)を参照してください。
- **ウィルス対策ソフトウェアの更新**：ウィルスによる被害からコンピューターを保護します。このソフトウェアは、お使いのコンピューターにプリインストールされています。詳しくは、[58 ページの「ウィルス対策ソフトウェアの使用」](#)を参照してください。
- **コンピューター本体の確認**：お使いのコンピューターの各部や特徴を確認します。詳しくは、[5 ページの「各部の名称と機能概要」](#)および[27 ページの「画面の操作」](#)を参照してください。
- **インストールされているソフトウェアの確認**：コンピューターにプリインストールされているソフトウェアの一覧を表示します。

[スタート]ボタンを選択して、[すべてのアプリ]を選択します。

または

[スタート]ボタンを右クリックして、[アプリと機能](Windows 10) または[インストール済みアプリ](Windows 11) を選択します。

- **ハードドライブのバックアップ**：リカバリ ディスクまたはリカバリ USB フラッシュ ドライブを作成して、ハードドライブをバックアップします。[67 ページの「バックアップおよび復元」](#)を参照してください。
- **[HP Support Assistant]アプリへのアクセス**：オンラインですばやくサポートを利用するには、[HP Support Assistant]アプリを起動します(一部の製品のみ)。[HP Support Assistant]は、コンピューターのパフォーマンスを最適化し、最新のソフトウェア更新プログラムや、診断ツール、およびガイド付きサポートによって問題を解決します。タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]を選択します。

情報の確認

製品の詳細情報、各種の手順などを確認するには、下の表を参照してください。

表21 追加情報

リソース	内容
『セットアップ手順』	<ul style="list-style-type: none">コンピューターのセットアップおよび機能の概要
HP のサポート	<ul style="list-style-type: none">HP の技術者とオンラインでチャットする
HP のサポートについては、 https://www.hp.com/support にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。	<ul style="list-style-type: none">サポート用の電話番号部品交換の動画 (一部の製品のみ)
または	<ul style="list-style-type: none">メンテナンスおよびサービス ガイド
タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「support」と入力して、[HP Support Assistant]を選択します。	<ul style="list-style-type: none">HP のサービス センターを探す
または	
タスクバーにある疑問符のアイコン (一部の製品のみ) を選択します。	
『快適に使用していただくために』	<ul style="list-style-type: none">正しい作業環境の整え方
このガイドを表示するには、以下の操作を行います。	<ul style="list-style-type: none">快適でけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドライン
<ul style="list-style-type: none">タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「HP Documentation」と入力して[HP Documentation]を選択します。	<ul style="list-style-type: none">電気的および物理的安全基準に関する情報
または	
<ul style="list-style-type: none">http://www.hp.com/ergo にアクセスします。	
重要 : 最新バージョンのユーザー ガイドを参照するには、インターネットに接続する必要があります。	
『規定、安全、および環境に関するご注意』	<ul style="list-style-type: none">重要な規定情報 (必要に応じて、有害物質の使用制限 (RoHS) およびバッテリの処分方法に関する情報など)。
このドキュメントを表示するには、以下の操作を行います。	
<ul style="list-style-type: none">タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「HP Documentation」と入力して[HP Documentation]を選択します。	

表 2-1 追加情報 (続き)

リソース	内容
限定保証規定* このドキュメントを表示するには、以下の操作を行います。 ■ タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「HP Documentation」と入力して[HP Documentation]を選択します。 または ■ http://www.hp.com/go/orderdocuments にアクセスします。 重要: 最新バージョンのユーザー ガイドを参照するには、インターネットに接続する必要があります。	<ul style="list-style-type: none">このコンピューターの具体的な保証内容



注記: *HP 限定保証規定は、お使いの製品のドキュメントまたは製品に付属の CD や DVD に収録されているドキュメントに示されています。国や地域によっては、印刷物の保証規定が製品に付属している場合があります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、コピーを <http://www.hp.com/go/orderdocuments> でオンラインで申し込みます。アジア太平洋地域で購入された製品につきましては、HP, POD, PO Box 161, Kitchener Road Post Office, Singapore 912006 宛てに郵送でも申し込みます。その場合は、お使いの製品名、およびお客様のお名前、お電話番号、ご住所をご明記ください。

3 各部の名称と機能概要

このコンピューターは最高級のコンポーネントを備えています。この章では、各部の詳細、位置、およびその機能について説明します。

ハードウェアの確認

コンピューターに取り付けられているハードウェアを確認するには、以下の操作を行います。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して、[デバイス マネージャー]アプリを選択します。

コンピューターに取り付けられているすべてのデバイスの一覧が表示されます。

システムのハードウェアコンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報を確認するには、[fn + esc](#) キーを押します（一部の製品のみ）。

ソフトウェアの確認

コンピューターにインストールされているソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

- [スタート]ボタンを右クリックして、[アプリと機能]（Windows 10）または[インストール済みアプリ]（Windows 11）を選択します。

右側面の各部

以下の図と表でコンピューターの右側面各部の位置と名称を確認してください。

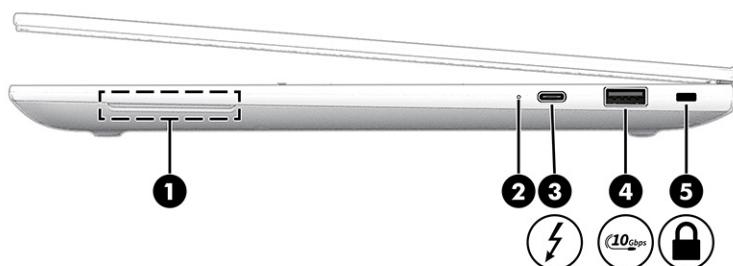


表3-1 右側面の各部とその説明

名称	説明
(1) スピーカー	サウンドを出力します。

表3-1 右側面の各部とその説明 (続き)

名称	説明
(2)  バッテリ ランプ	<p>外部電源が接続されている場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> 白色 : バッテリの充電が 90%を超えてています。 オレンジ色 : バッテリの充電が 0~90%完了しています。 消灯 : バッテリが充電されていません。 <p>外部電源が接続されていない (バッテリが充電されていない) 場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> オレンジ色で点滅 : バッテリがロー バッテリ状態に達しています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます。 消灯 : バッテリが充電されていません。
(3)  USB Type-C®電源コネクタおよび Thunderbolt™ポート (HP Sleep and Charge および DisplayPort™出力付き)	<p>USB Type-C コネクタのある外部電源アダプターを接続して、コンピューターに電力を供給し、必要に応じてコンピューターのバッテリを充電します。</p> <p>および</p> <p>USB デバイスを接続し、高速データを転送します。また、コンピューターの電源がオフになっている場合でも、小型のデバイス (スマートフォンなど) を充電します。</p> <p>注記 : 小型の外付けデバイスを充電する場合は、標準 USB Type-C 充電ケーブルまたはケーブルアダプター (別売) を使用します。</p> <p>および</p> <p>USB Type-C コネクタのあるディスプレイを接続して、DisplayPort 信号を出力します。</p> <p>注記 : お使いのコンピューターは、Thunderbolt ドッキングステーションもサポートしている場合があります。</p>
(4)  USB 10 Gbps ポート <u>(10 Gbps)</u>	<p>コンピューターの電源が入っているとき、またはスリープモードになっているときに、USB デバイスを接続し、高速データ転送を行います。また、一部の製品では、小型のデバイス (スマートフォンなど) を充電します。</p> <p>注記 : 小型の外付けデバイスを充電する場合は、標準 USB Type-A 充電ケーブルまたはケーブルアダプター (別売) を使用します。</p>
(5)  セキュリティ ロック ケーブル用スロット	<p>別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します。</p> <p>注記 : セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。</p>

左側面の各部

以下の図と表でコンピューターの左側面各部の位置と名称を確認してください。

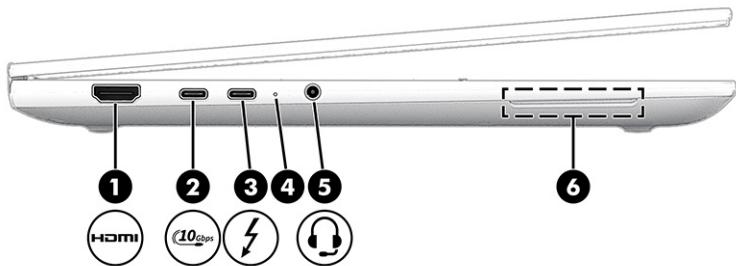


表 3-2 左側面の各部とその説明

名称	説明
(1)  HDMI ポート	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、対応するデジタル コンポーネントやオーディオ コンポーネント、または高速 HDMI (High-Definition Multimedia Interface) デバイスを接続します。
(2)  USB 10 Gbps ポート	コンピューターの電源が入っているとき、またはスリープ モードになっているときには、USB デバイスを接続し、高速 データ転送を行います。また、一部の製品では、小型のデバイス (スマートフォンなど) を充電します。
(3)  USB Type-C 電源コネクタおよび Thunderbolt ポート (HP Sleep and Charge および DisplayPort 出力付き)	<p>USB Type-C コネクタのある外部電源アダプターを接続し て、コンピューターに電力を供給し、必要に応じてコン ピューターのバッテリを充電します。</p> <p>および</p> <p>USB デバイスを接続し、高速データを転送します。また、コンピューターの電源がオフになっている場合でも、小型 のデバイス (スマートフォンなど) を充電します。</p>

注記 : 小型の外付けデバイスを充電する場合は、標準 USB Type-A 充電ケーブルまたはケーブル アダプター (別売) を 使用します。

注記 : 小型の外付けデバイスを充電する場合は、標準 USB Type-C 充電ケーブルまたはケーブル アダプター (別売) を 使用します。

注記 : お使いのコンピューターは、Thunderbolt ドッキング ステーションもサポートしている場合があります。

表3-2 左側面の各部とその説明 (続き)

名称	説明
(4) バッテリ ランプ	外部電源が接続されている場合： <ul style="list-style-type: none">白色：バッテリの充電が90%を超えています。オレンジ色：バッテリの充電が0～90%完了しています。消灯：バッテリが充電されていません。 外部電源が接続されていない（バッテリが充電されていない）場合： <ul style="list-style-type: none">オレンジ色で点滅：バッテリがロー バッテリ状態に達しています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます。消灯：バッテリが充電されていません。
(5)  オーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンポネクタ	別売または市販の別途電力が供給されているステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビオーディオケーブルなどを接続します。市販のヘッドセットマイクを使用する場合もここに接続します。このコネクタは、市販の単独のマイクには対応していません。 警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調整を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。 このガイドを表示するには、以下の操作を行います。 <ul style="list-style-type: none">タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「HP Documentation」と入力して[HP Documentation]を選択します。 注記： コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります。
(6) スピーカー	サウンドを出力します。

ディスプレイの各部

以下の図と表でディスプレイの各部の位置と名称を確認してください。

低ブルーライトモード（一部の製品のみ）

お使いのコンピューターのディスプレイは、目の快適性と安全性を高めるため、工場出荷時に低ブルーライトモードに設定されています。また、ブルーライトモードでは、コンピューターを夜間または読書に使用しているときはブルーライトの発光が自動的に調節されます。

△ 警告！操作する人の健康を損なわないようするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しています。さらに、重要な電気的および物理的安全基準に関する情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、<http://www.hp.com/ergo> から表示できます。

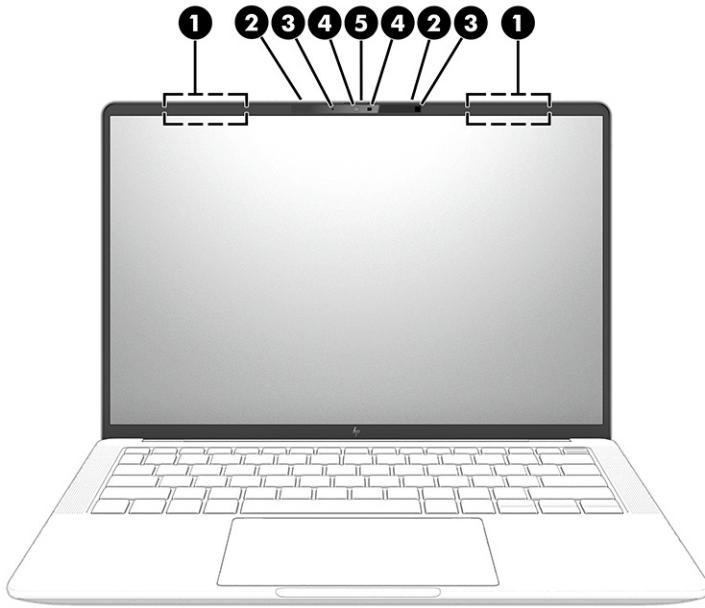


表 3-3 ディスプレイの各部とその説明

名称	説明
(1) 無線 LAN アンテナ* (×2)	無線ローカルエリアネットワーク(無線 LAN)で通信する無線信号を送受信します。
(2) 内蔵マイク (×2)	サウンドを集音、録音します。
(3) カメラランプ (×2)	点灯：カメラの使用中に点灯します。
(4) カメラ (×2)	ビデオチャットを利用したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりできます。カメラを使用するには、 32ページの「カメラの使用(一部の製品のみ)」 を参照してください。一部のカメラでは、パスワードログオンの代わりに顔認識を使用してWindowsにログオンすることもできます。詳しくは、 58ページの「[Windows Hello](一部の製品のみ)」 を参照してください。 注記： カメラの機能は、お使いの製品に搭載されているカメラのハードウェアおよびソフトウェアによって異なります。
(5) カメラプライバシーカバー(一部の製品のみ)	初期設定の状態では、カメラのレンズは隠れていませんが、カメラプライバシーカバーをスライドさせてカメラの視野を覆うことができます。カメラを使用するには、カメラプライバシーカバーを反対方向にスライドさせてレンズが見えるようにします。 注記： 前面カメラと背面カメラの両方がある場合は、片方のカメラレンズを見るようにすると、もう片方が隠れます。

 **注記：***アンテナはコンピューターの外側からは見えません。送受信が最適に行われるようになるため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「HP Documentation」と入力して[HP Documentation]を選択します。
-

キーボードの各部

キーボードのキー配列や個別のキーの形は、言語によって異なる場合があります。

 **注記：**ファンクションキー（一部の製品のみ）などのキーボードは、スタンドモード、テントモード、およびタブレットモードで無効になります。電源キーなどのキーボードを有効にするには、クラムシェルモードに変更します。

タッチパッド

ここでは、タッチパッドの設定および各部について説明します。

タッチパッドの設定

ここでは、タッチパッドの設定および各部の調整方法について説明します。

タッチパッド設定の調整

タッチパッド設定およびタッチパッドジェスチャを調整するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「タッチパッドの設定」と入力して、[enter](#)キーを押します。
2. 設定を選択します。

タッチパッドの有効化

タッチパッドをオンにするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「タッチパッドの設定」と入力して、[enter](#)キーを押します。
2. 外付けマウスを使用して[タッチパッド]ボタンをクリックします。

外付けマウスを使用していない場合は、カーソルが[タッチパッド]ボタンに合うまで、[tab](#)キーを繰り返し押します。その後、[スペースバー](#)を押してボタンを選択します。

タッチパッドの各部

以下の図と表でタッチパッドの各部の位置と名称を確認してください。

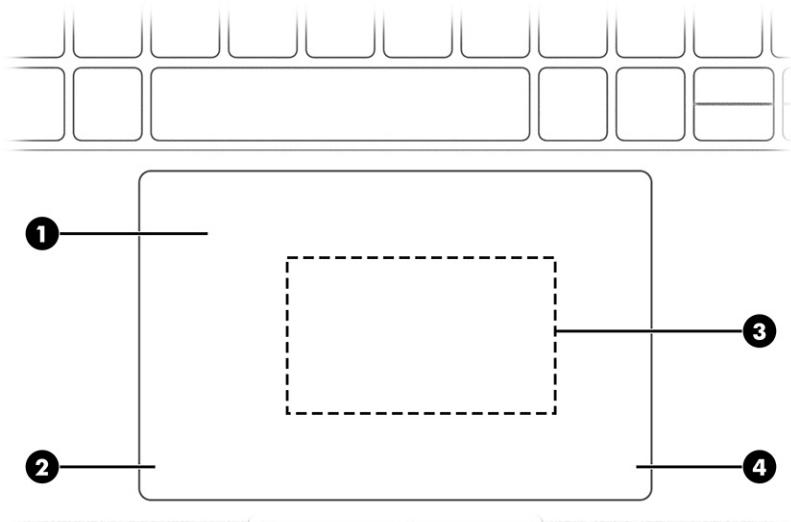


表3-4 タッチパッドの各部とその説明

名称	説明
(1) タッチパッド ゾーン	指によるジェスチャを読み取り、画面上のポインターを移動したり項目をアクティブにしたりします。 注記： 詳しくは、 27ページの「タッチパッドおよびタッチスクリーン ジェスチャの使用」 を参照してください。
(2) 左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します。
(3) 近距離無線通信 (NFC) タップエリア およびアンテナ (一部の製品のみ)	NFC 対応のデバイスでタップすると、情報を無線で共有できます。
(4) 右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します。

ランプ

以下の図と表でコンピューターのランプの位置と名称を確認してください。

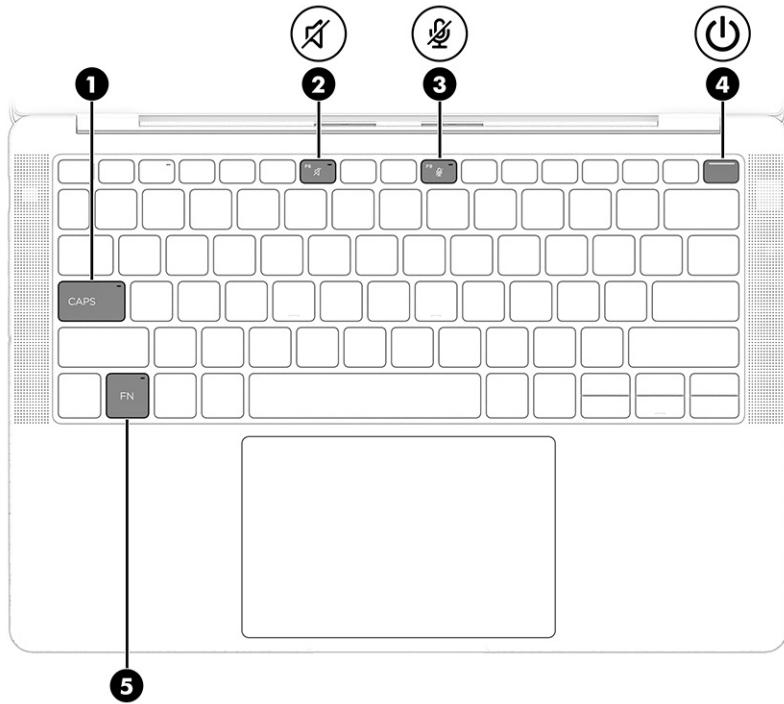
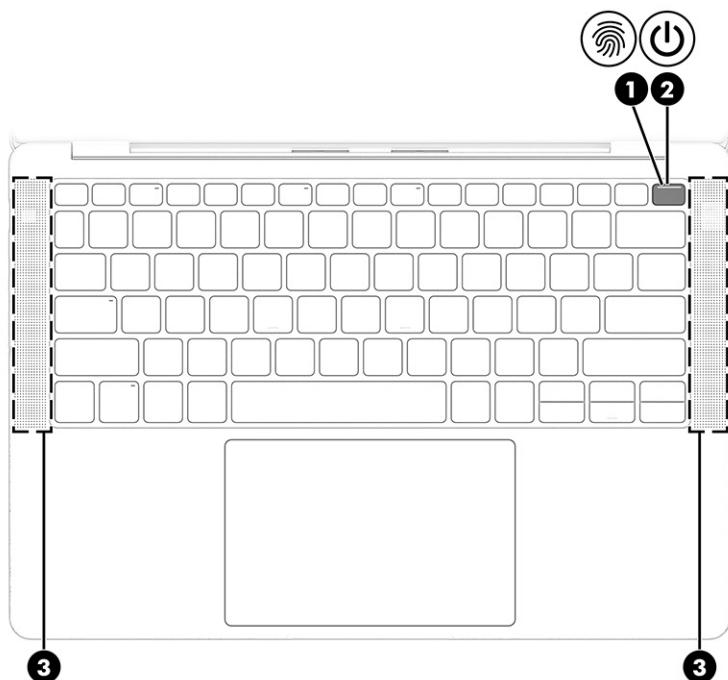


表 3-5 ランプとその説明

名称	説明
(1) Caps Lock ランプ	点灯 : Caps Lock がオンになっていて、アルファベットが大文字で入力されます。
(2) ミュート (消音) ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯 : コンピューターのサウンドがオフになっています。 消灯 : コンピューターのサウンドがオンになっています。
(3) マイクのミュート (消音) ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯 : マイクがオフになっています。 消灯 : マイクがオンになっています。
(4) 電源ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯 : コンピューターの電源がオンになっています。 点滅 (一部の製品のみ) : コンピューターがスリープ状態で、省電力状態になっています。ディスプレイおよびその他の不要なコンポーネントの電源はオフになっています。 消灯 : お使いのコンピューターのモデルによっては、コンピューターの電源が切れているか、休止状態またはスリープ状態になっています。休止状態は、最小限の電力を使用する省電力状態です。
(5) Fn Lock ランプ	点灯 : fn キーがロックされています。詳しくは、 17 ページの「ホットキー (一部の製品のみ)」 を参照してください。

ボタン、スピーカー、および指紋認証システム

指紋認証システムは、タッチパッド、コンピューターの側面パネル、キーボードの下の上面カバー、または電源ボタンにあります。



重要: お使いのコンピューターが指紋認証システムによるサインインに対応していることを確認するには、タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「サインインオプション」と入力して[サインインオプション]アプリを選択します。[指紋認証]がオプションの一覧に表示されていない場合、お使いのノートブックには指紋認証システムが組み込まれていません。

表3-6 ボタン、スピーカー、および指紋認証システムとその説明

名称	説明
(1) 指紋認証システム (一部の製品のみ)	パスワードによるログオンの代わりに、指紋認証を使用してWindowsにログオンできます。 <ul style="list-style-type: none">指で指紋認証システムにタッチします。 <p>重要: 指紋認証によるログオンのトラブルを回避するため、指紋認証システムで指紋を登録するときに、指の側面までしっかりと登録するようしてください。</p>

表3-6 ボタン、スピーカー、および指紋認証システムとその説明 (続き)

名称	説明
(2)  電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターの電源が切れているときにボタンを短く押すと、電源が入ります。 コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます。 コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープ状態が終了します(一部の製品のみ)。 コンピューターが休止状態のときにボタンを短く押すと、休止状態が終了します。 <p>重要: 電源ボタンを押したままにして電源を切断すると、保存されていない情報は失われます。</p> <p>コンピューターが応答せず、シャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを4秒以上押したままにすると、コンピューターの電源が切れます。</p> <p>電源設定について詳しくは、[電源]アイコンを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> [電源]アイコン  を右クリックして、[電源とスリープの設定]を選択します。
(3) スピーカー (×2)	サウンドを出力します。

特別なキー

以下の図と表で特別なキーの位置と名称を確認してください。

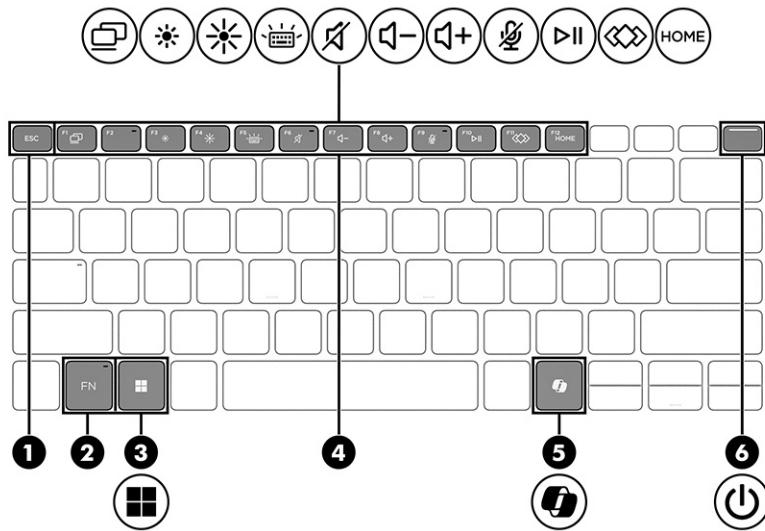


表3-7 特別なキーとその説明

名称	説明
(1) esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します。

表 3-7 特別なキーとその説明 (続き)

名称	説明
(2)  fn キー	別のキーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します。これらのキーの組み合わせは「ホットキー」と呼ばれます。 17 ページの「ホットキー (一部の製品のみ)」を参照してください。
(3) Windows キー	[スタート]メニューを開きます。 注記: Windows キーをもう一度押すと、[スタート]メニューを閉じます。
(4) 操作キー	頻繁に使用するシステムの機能を実行します。 15 ページの「操作キー」を参照してください。
(5)  Windows Copilot キー	[Windows Copilot]を開きます (一部の製品のみ)。 注記: Copilot in Windows には Windows 11 が必要です。一部の機能には、ニューラル プロセッシング ユニットが必要です。機能の提供時期と可用性は、市場およびデバイスによって異なります。Copilot 機能を利用するには、Microsoft のアカウントが必要です。Copilot 機能を使用できない場合に Copilot キーを押すと、Bing 検索エンジンが開きます。 http://aka.ms/WindowsAIFeatures を参照してください。
(6)  電源ボタン	<ul style="list-style-type: none">コンピューターの電源が切れているときにボタンを短く押すと、電源が入ります。コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます。コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープ状態が終了します(一部の製品のみ)。コンピューターが休止状態のときにボタンを短く押すと、休止状態が終了します。 重要: 電源ボタンを押したままにして電源を切断すると、保存されていない情報は失われます。 コンピューターが応答せず、シャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 4 秒以上押したままにすると、コンピューターの電源が切れます。 電源設定について詳しくは、[電源]アイコンを使用してください。 <ul style="list-style-type: none">[電源]アイコン  を右クリックして、[電源とスリープの設定]を選択します。

操作キー

操作キーは特定の機能を実行するもので、コンピューターによって異なります。お使いのコンピューターに備わっているキーを確認するには、キーボード上のアイコンを見て、この表に記載された説明と照らし合わせてください。

- 操作キーを使用するには、そのキーを押したままにします。

 **注記**：一部の製品では、**fn** キーを適切な操作キーと組み合わせて押す必要があります。

表3-8 操作キーとその説明

アイコン	説明
	システムに接続されているディスプレイ間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、このキーを繰り返し押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイに順に表示画面が切り替わります。
	このキーを押したままにすると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります。
	このキーを押したままにすると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります。
	キーボードのバックライトのオン/オフを切り替えます。一部の製品では、キーボードのバックライトの輝度を調整できます。キーを繰り返し押すと、輝度を「高」(コンピューターの初回起動時)、「低」、「オフ」の順に調整できます。キーボードのバックライト設定を調整した後は、コンピューターの電源を入れるたびにバックライトが以前の設定に戻ります。操作しない状態が30秒続くと、キーボードのバックライトはオフになります。キーボードのバックライトを再びオンにするには、任意のキーを押すか、タッチパッドをタップ(一部の製品のみ)します。バッテリ電源を節約するには、この機能をオフにします。
	スピーカーの音をミュート(消音)したり元に戻したりします。
	このキーを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります。
	このキーを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります。
	マイクをミュート(消音)します。
	オーディオ CD、DVD やブルーレイディスク(BD)のオーディオまたは動画の再生を開始、一時停止、または再開します。
	頻繁に使用されるタスクを実行します。一部のタスクは、一部の製品では使用できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> アプリケーション、ファイル、または Web サイトを開きます 使用頻度の高いテキストを恒久的なクリップボードにコピーします システム プロファイルを変更できるようにします システムのプロパティを変更できるようにします ユーザー定義のキー シーケンスを実行します

表3-8 操作キーとその説明 (続き)

アイコン	説明
HOME	使用しているアプリまたはプログラムのメインページまたはホームページに戻ります。

 **注記 :**操作キーの機能は、出荷時に有効に設定されています。この機能を無効にするには、**fn** キーおよび左側の **shift** キーを押したままにします(一部の製品のみ)。無効になると、Fn Lock ランプが点灯します。操作キーの機能を無効にした後も、**fn** キーを適切な操作キーと組み合わせて押すことによって、各機能を引き続き実行できます。

ホットキー (一部の製品のみ)

ホットキーは、**fn** キーとその他のキーの組み合わせです。以下の表でホットキーを確認してください。

ホットキーを使用するには、以下の操作を行います。

- **fn** キーを押し、以下の表に記載されているキーのどれか1つを押します。

表3-9 ホットキーとその説明

キー	説明
C	Scroll Lock がオンになります。
E	挿入機能がオンになります。
R	操作を中断します。
S	プログラミング クエリを送信します。
W	操作を一時停止します。

裏面の各部

以下の図と表で裏面の各部の位置と名称を確認してください。

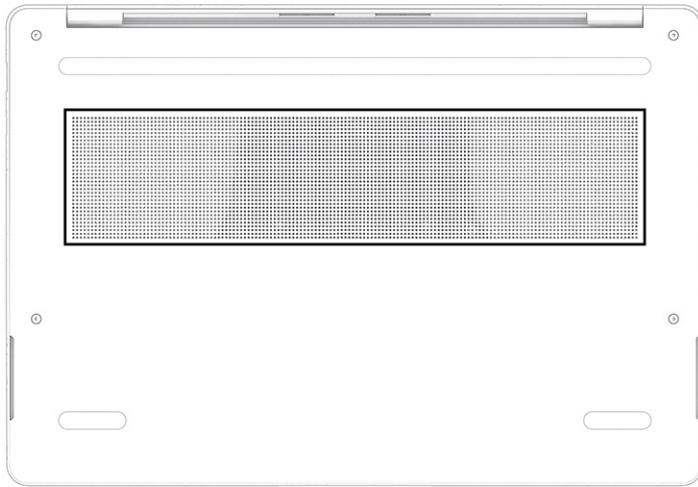


表3-10 裏面の各部とその説明

名称	説明
(1) 通気孔	<p>コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します。</p> <p>注記: コンピューターのファンは、内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐために自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です。</p>

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決するために問い合わせたり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。ラベルはステッカーとして貼付されている場合と、製品に直接刻印されている場合があります。



重要: このセクションで説明するラベルの位置については、コンピューターの裏面、バッテリベイ内、底面カバーの裏面、ディスプレイの背面、またはキックスタンドの裏面を確認してください。

- サービス ラベル: お使いのコンピューターを識別するための重要な情報が記載されています。サポート窓口にお問い合わせになるときに、シリアル番号、製品番号、またはモデル番号尋ねられることがあります。お問い合わせになる前に、この情報を確認しておいてください。

サービス ラベルは、下に示す例のどちらかのような外観です。お使いのコンピューターのサービス ラベルに近い図を参照してください。

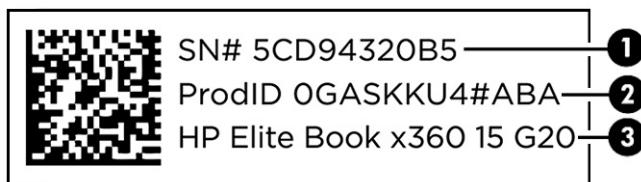


表 3-11 サービス ラベルの各部

名称
(1) シリアル番号
(2) 製品 ID
(3) HP 製品名

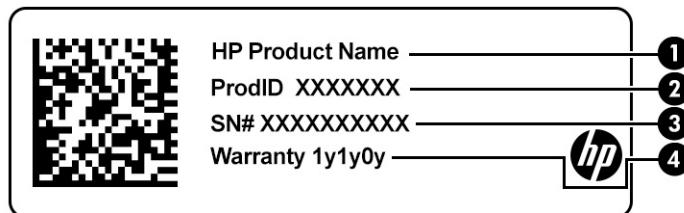


表 3-12 サービス ラベルの各部

名称
(1) HP 製品名
(2) 製品 ID
(3) シリアル番号
(4) 保証期間

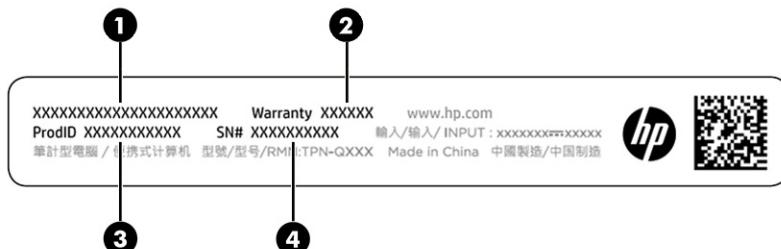


表 3-13 サービス ラベルの各部

名称
(1) HP 製品名
(2) 保証期間
(3) 製品 ID
(4) シリアル番号

- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。
- 無線認定/認証ラベル：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の認定マークが記載されています。

4 ネットワーク接続

お使いのコンピューターは、どこへでも持ち運べます。ただし自宅にいるときでも、コンピューターを有線または無線ネットワークに接続して使用すれば、世界中を検索して何百万もの Web サイトの情報にアクセスできます。この章では、ネットワークで世界と接続する方法について説明します。

無線ネットワークへの接続

お使いのコンピューターには、以下の無線デバイスが1つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線 LAN デバイス：コンピューターを無線ローカルエリアネットワーク（一般に、無線ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。これらの接続は通常、会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、コーヒーショップ、ホテル、大学など）で行われます。無線 LAN では、コンピューターのモバイル無線デバイスは無線ルーターまたは無線アクセスポイントと通信します。
- HP モバイルブロードバンドモジュール（一部の製品のみ）：より広い範囲での無線接続を実現する、無線ワイドエリアネットワーク（無線 WAN）デバイスです。モバイルネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）を設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth® デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、タブレット、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナルエリアネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、それぞれのデバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス間の距離を比較的近くする必要があります（通常は約 10 m（33 フィート）以内）。

無線コントロールの使用

以下の1つまたは両方の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタン（「機内モードキー」または「無線キー」とも呼ばれます）
- オペレーティングシステムの制御機能

無線ボタン

コンピューターには無線ボタン、1つまたは複数の無線デバイス、および1つまたは2つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスが有効になっています。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。

オペレーティングシステムの制御機能

オペレーティングシステムの制御機能である[ネットワークと共有センター]では、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

お使いのコンピューター モデルに応じて、以下のどれかの方法を使用してオペレーティングシステムの制御機能にアクセスします。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「コントロール パネル」と入力して[コントロール パネル]を選択します。

- タスクバーのネットワークステータスアイコンを右クリックし、[ネットワークとインターネットの設定]を選択します。

無線 LAN への接続

この手順で無線 LAN に接続するには、まずインターネットアクセスをセットアップする必要があります。

 **注記 :**自宅でインターネットアクセスをセットアップするには、インターネットサービスプロバイダー (ISP) のアカウントを設定する必要があります。インターネットサービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線ルーターをモデムに接続するためのネットワークケーブルの取り付け、インターネットサービスのテストなどの作業に関するサポートを提供しています。

- 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。
- タスクバーのネットワークステータスアイコンを選択し、[Wi-Fi]ボタンの横にある右矢印アイコンを選択して、利用可能なネットワークを表示します。

無線 LAN がセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティコードの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、[次へ]を選択して接続を完了します。

 **注記 :**無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルーターまたはアクセスポイントの範囲外にいる可能性があります。

 **注記 :**お使いのコンピューター モデルに応じて、接続したい無線 LAN が表示されない場合は、以下のどれかの操作を行います。

- タスクバーのネットワークステータスアイコンを右クリックし、[ネットワークとインターネットの設定]を選択します。
- [Wi-Fi]→[利用できるネットワークの表示]の順に選択します。

[接続オプションの一覧]が表示され、手動で検索してネットワークに接続したり、新しいネットワーク接続を作成したりするなどの操作を選択できます。

- 利用可能なネットワークのどれかに接続します。

接続完了後、タスクバーの右端にあるネットワークステータスアイコンを選択すると、接続の名前およびステータスを確認できます。

 **注記 :**動作範囲 (無線信号が届く範囲) は、無線 LAN の実装、ルーターの製造元、および壁や床などの建造物やその他の電子機器からの干渉に応じて異なります。

HP モバイル ブロードバンドの使用 (一部の製品および一部の国や地域のみ)

HP モバイル ブロードバンドコンピューターは、モバイル ブロードバンドサービスをあらかじめサポートしています。この新しいコンピューターでモバイル事業者のネットワークを使用すると、無線 LAN スポットなしで、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が可能になります。

モバイル ブロードバンドサービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールの IMEI 番号または MEID 番号のどちらか、またはその両方が必要な場合があります。番号は、コンピューターの裏面、バッテリ ベイ内、底面カバーの裏面、またはディスプレイの背面のラベルに印刷されている場合があります。

モバイル事業者の設定の確認

モバイル事業者の設定を確認するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーのネットワークステータスアイコンを右クリックします。
2. [ネットワークとインターネットの設定]を選択します。
3. [ネットワークとインターネット]セクションで、[携帯電話]を選択し、[More cellular settings] (携帯電話の詳細設定) で[Mobile operator settings] (モバイル事業者の設定) を選択します。

モバイルネットワーク事業者によっては、SIM (Subscriber Identity Module) カードが必要な場合があります。SIMカードには、PIN (個人識別番号) やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIMカードがあらかじめ装着されています。SIMカードがあらかじめ装着されていない場合、SIMカードはコンピューターに付属のHPモバイルブロードバンドの説明書に付属しているか、モバイルネットワーク事業者から別途入手することができます。

HPモバイルブロードバンドでの接続

HPモバイルブロードバンドを使用して接続するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーでネットワークアイコンを選択して、[Quick Settings] (クイック設定) メニューを開きます。
2. 信号バーアイコンの横にある矢印を選択して接続します。

HPモバイルブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイルネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属しているHPモバイルブロードバンド情報を参照してください。

eSIMの使用（一部の製品のみ）

お使いのコンピューターによっては、eSIMが装備されている場合があります。eSIMは、一般的に使用されているSIMのプログラミング可能なバージョンです。eSIMを使用することで、選択した通信事業者から異なるプロファイルをダウンロードできます。

eSIMにより、モバイルデータ接続を使用してインターネットに接続できます。eSIMを使用すれば、モバイル事業者からSIMカード入手する必要がなく、モバイル事業者とデータプランをすばやく切り替えることができます。たとえば、1つのモバイルデータプランを仕事用に使用し、他のモバイル事業者の別のプランを個人用に使用できます。旅行や出張の際は、その地域で利用するためのプランを用意しているモバイル事業者を探すこと、他の場所でも接続できます。

eSIMは、以下の方法で実装できます。

- eSIMチップ (eUICC) を取り付けます。この場合、このノートブックは、デュアルSIMとして動作します。つまり、1つ目はeUICCとして、2つ目はSIMカードトレイに載せられた標準のマイクロSIMカードまたはナノSIMカードとしてです。一度にアクティブにできるSIMは1つのみです。
- 標準のマイクロSIMカードまたはナノSIMカードと同様に、取り外し可能な物理eSIMを載せます。この場合、eSIMは単一の通信業者（物理的な空のeSIM）に制限されません。

モバイルデータを使用してインターネットに接続するには、eSIMプロファイルを追加する必要があります。プロファイルの追加方法、SIMプロファイルの管理方法、およびeSIMの使用方法について

は、<https://www.support.microsoft.com> にアクセスして、検索バーで「eSIM を使用する」と入力してください。

GPS の使用 (一部の製品のみ)

お使いのコンピューターには、GPS (Global Positioning System) デバイスが内蔵されている場合があります。GPS 搭載システムには、GPS 衛星から位置、速度、および方角に関する情報が送信されます。

GPS を有効にするには、Windows のプライバシー設定で、位置情報が有効になっていることを確認してください。

1. タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「位置情報」と入力して、[位置情報のプライバシー設定]を選択します。位置情報サービスが有効になっていることを確認します。
2. 位置情報の設定がまだ有効になっていない場合は、有効にします。

Bluetooth 無線デバイスの使用 (一部の製品のみ)

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター (デスクトップ、ノートブック、タブレット)
- 電話機 (携帯、コードレス、スマートフォン)
- イメージングデバイス (プリンター、カメラ)
- オーディオデバイス (ヘッドセット、スピーカー)
- マウス
- 外付けキーボード

Bluetooth デバイスの接続

Bluetooth デバイスを使用する前に、Bluetooth 接続を確立する必要があります。

1. タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「bluetooth」と入力して、[Bluetoothとその他のデバイスの設定]を選択します。
2. [Bluetooth]がオフになつてない場合はオンにします。
3. [デバイスを追加する]を選択し、[デバイスを追加する]ダイアログボックスで、[Bluetooth]を選択します。
4. お使いのデバイスを一覧から選択し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記 :** Bluetooth デバイスの検証が必要な場合は、ペアリングコードが表示されます。追加中の Bluetooth デバイスで画面の説明に沿って操作し、デバイスに表示されているコードがペアリングコードと一致することを確認します。詳しくは、当該デバイスに付属の説明書等を参照してください。

 **注記 :** お使いのデバイスが一覧に表示されない場合は、そのデバイスで Bluetooth がオフになつてないことを確認します。デバイスによっては、追加の要件がある場合があります。デバイスに付属の説明書を参照してください。

NFC を使用した情報の共有 (一部の製品のみ)

お使いのコンピューターは NFC(Near Field Communication : 近距離無線通信) に対応しており、NFC 対応デバイス間で情報を無線で共有できます。情報は一方のデバイスのタップエリア(アンテナ) からもう一方のデバイスに転送されます。NFC およびサポートされるアプリを使用すると、Web サイトを共有したり、連絡先情報を転送したり、電子マネーの支払いや送金を行ったり、NFC 対応のプリンターから印刷したりできます。

 **注記 :** お使いのコンピューターのタップエリアの位置については、[5 ページの「各部の名称と機能概要」](#) を参照してください。

1. NFC 機能が有効になっていることを確認します。
 - a. タスクバーの【検索】アイコンを選択し、検索ボックスに「無線」と入力して、[Turn wireless devices on or off] (無線デバイスのオン/オフを切り替える) を選択します。
 - b. NFC の設定が【オン】になっていることを確認します。
 2. NFC 対応デバイスで NFC タップエリアをタップします。デバイスが接続されると音が鳴ることがあります。
-  **注記 :** もう一方の NFC デバイスのアンテナの場所を見つけるには、お使いのデバイスの説明書を参照してください。
3. 画面の説明に沿って操作を続行します。

有線ネットワークへの接続

一部の製品では、ネットワークケーブルを使用するローカルエリアネットワーク (LAN) 接続が許可されている場合があります。ケーブルは別売です。

 **警告 !** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、電話ケーブルを RJ-45 (ネットワーク) コネクタに接続しないでください。

ローカルエリアネットワーク (LAN) への接続 (一部の製品のみ)

コンピューターを自宅のルーターに無線ではなく有線で接続する場合、または会社等の既存の有線ネットワークに接続する場合は、有線 LAN 接続を使用します。

ネットワークケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

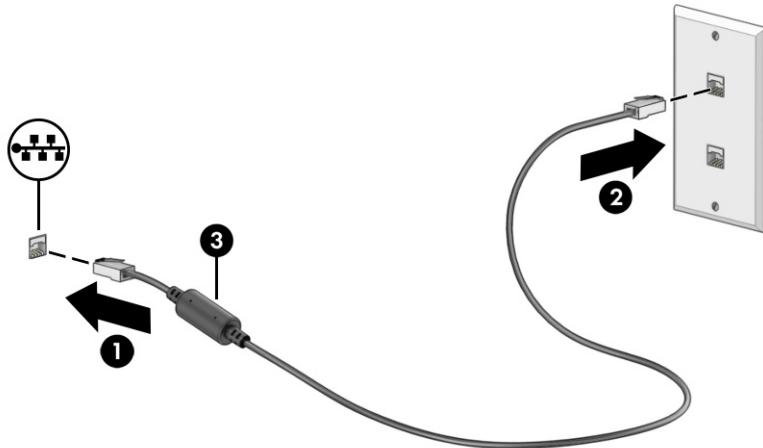
 **注記 :** お使いのコンピューターで、[HP LAN-Wireless Protection]と呼ばれる機能が有効になっている場合があります。この機能は、LAN に有線で接続したときに無線 (Wi-Fi) 接続または無線 WAN 接続を終了します。[HP LAN-Wireless Protection]について詳しくは、[25 ページの「\[HP LAN-Wireless Protection\]の使用 \(一部の製品のみ \)」](#) を参照してください。

コンピューターに RJ-45 コネクタがない場合、LAN に接続するには、ネットワークケーブルの他にネットワークコネクタ、別売のドッキングデバイス、または拡張製品が必要です。

1. ネットワークケーブルを、コンピューター、別売のドッキングデバイス、または拡張製品に装備されているネットワークコネクタに差し込みます (1)。

- ネットワークケーブルのもう一方の端をデジタルモジュラーコンセントまたはルーターに差し込みます(2)。

 **注記:** ネットワークケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア(3)が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方の端をコンピューターに接続します。



[HP LAN-Wireless Protection]の使用(一部の製品のみ)

LAN環境で[HP LAN-Wireless Protection]を設定することで、無線による不正なアクセスからLANネットワークを保護できます。[HP LAN-Wireless Protection]が有効な場合は、コンピューターをLANに有線で接続すると、無線LAN(Wi-Fi)接続または無線WAN接続がオフになります。

[HP LAN-Wireless Protection]を有効にしてカスタマイズするには、以下の操作を行います。

- [HP Computer Setup](BIOS)を起動します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット:
 - コンピューターの電源を入れるか再起動し、HPのロゴが表示される前に **f10** キーを押して[HP Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット:
 - タブレットの電源を入れるか再起動してすぐに音量下げボタンを押したままにすると、スタートアップメニューが表示されます。[f10]をタップして、[HP Computer Setup]を起動します。
- [Advanced](詳細設定)→[Built-in Device Options](内蔵デバイスオプション)の順に選択します。
- [LAN/WLAN Auto Switching](LAN/無線LANの自動切り替え)または[LAN/WWAN Auto Switching](LAN/無線WANの自動切り替え)のどちらかのチェックボックス、またはその両方にチェックを入れて、LANネットワークに接続したときに無線LANまたは無線WANのどちらか、またはその両方の接続をオフにします。

4. 変更を保存して[HP Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記 :** 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、[enter](#) キーを押す必要があります。

変更、保存した内容は、コンピューターを再起動したときに有効になります。

[HP MAC Address Pass Through]の使用 (一部の製品のみ)

[HP MAC Address Pass Through]は、お使いのコンピューターおよびその通信をネットワーク上で識別するカスタマイズ可能な方法を提供します。このシステムの MAC アドレスにより、お使いのコンピューターがネットワーク アダプター経由で接続されている場合でも一意に識別できます。このアドレスは、初期設定では有効になっています。

[HP MAC Address Pass Through]をカスタマイズするには、以下の操作を行います。

1. [HP Computer Setup] (BIOS) を起動します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら [f10](#) キーを押してセットアップユーティリティを起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - タブレットの電源を入れるか再起動してすぐに音量下げボタンを押したままにすると、スタートアップメニューが表示されます。[[f10](#)]をタップして、[HP Computer Setup]を起動します。
2. [Advanced] (詳細設定) →[MAC Address Pass Through]の順に選択します。
3. [Host Based MAC Address] (ホストベース MAC アドレス) の右側にあるボックスで、[System Address] (システム アドレス) を選択して[HP MAC Address Pass Through]を有効にするか、[Custom Address] (カスタム アドレス) を選択してアドレスをカスタマイズします。
4. [Custom]を選択した場合は、[MAC ADDRESS] (MAC アドレス) を選択してカスタマイズされたシステムの MAC アドレスを入力し、[enter](#) を選択してアドレスを保存します。
5. 以下のどちらかの操作を実行します。
 - コンピューターに LAN 機能が内蔵されていて、内蔵 MAC アドレスをシステムの MAC アドレスとして使用する場合は、[Reuse Embedded LAN Address] (内蔵 LAN アドレスの再利用) を選択します。
 - [Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記 :** 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、[enter](#) キーを押す必要があります。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを再起動したときに有効になります。

5 画面の操作

お使いのコンピューターのモデルに応じて、1つまたは複数の方法でコンピューター画面を操作できます。

- コンピューター画面で直接タッチジェスチャを使用する。
- タッチパッドでタッチジェスチャを使用する。
- 別売のマウスまたはキーボードを使用する。
- スクリーンキーボードを使用する。
- ポイントスティックを使用する。

タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャの使用

タッチパッドを使用すると、簡単なタッチジェスチャでコンピューターの画面やポインターを操作できます。タッチパッドの左右のボタンを、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用することもできます。

タッチスクリーン（一部の製品のみ）で操作するには、この章に記載されているジェスチャを使用して直接画面をタッチします。ジェスチャをカスタマイズしたり、ジェスチャ機能のビデオを見たりするには、タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「コントロール パネル」と入力して、[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]の順に選択します。[デバイスとプリンター]で[マウス]を選択します。

一部の製品には、高度なジェスチャ機能を提供する高精度タッチパッドが搭載されています。高精度タッチパッドが搭載されているかどうかを確認したり、その他の情報を確認したりするには、お使いのコンピューターに応じて以下の操作を行います。

- [スタート]→[設定]→[Bluetoothとデバイス]→[タッチパッド]の順に選択します。

 **注記：**特に記載のない限り、タッチジェスチャは、タッチパッド上とタッチスクリーン上の両方で使用できます。

タップ

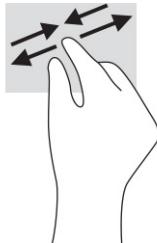
画面上の項目にマウスカーソルを合わせてから、タッチパッドゾーンまたはタッチスクリーンを1本の指で軽く叩いてその項目を選択します。項目を2回続けて軽く叩いて（「ダブルタップ」と言います）開きます。



2本指ピンチズーム

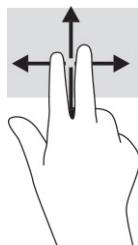
2本指ピンチズームを使用すると、画像やテキストをズームイン（拡大）またはズームアウト（縮小）できます。

- タッチパッドゾーンまたはタッチスクリーン上で2本の指を互いに離した状態にして置き、その2本の指の間隔を狭めるとズームアウト（縮小）できます。
- タッチパッドゾーンまたはタッチスクリーン上で2本の指を一緒の状態にして置き、その2本の指の間隔を拡げるとズームイン（拡大）できます。



2本指スクロール（タッチパッドおよび高精度タッチパッド）

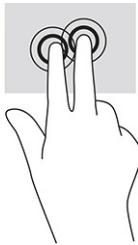
2本の指を少し離してタッチパッドゾーン上に置き、上下左右に動かすと、ページや画像内を上下左右に移動できます。



2本指タップ（タッチパッドおよび高精度タッチパッド）

2本の指でタッチパッドゾーンを軽く叩くと、選択したオブジェクトのオプションメニューが表示されます。

 **注記：**2本指タップでは、マウスを右クリックしたときと同じ機能が実行されます。



3本指タップ（タッチパッドおよび高精度タッチパッド）

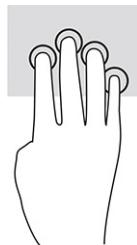
初期設定では、3本指タップで検索ボックスが開きます。3本の指でタッチパッドゾーンを軽く叩くと、ジェスチャが実行されます。



高精度タッチパッド上でのこのジェスチャの機能を変更するには、[スタート]→[設定]→[Bluetooth とデバイス]→[タッチパッド]の順に選択します。[3 本指ジェスチャ]の[タップ]ボックスで、ジェスチャ設定を選択します。

4 本指タップ (タッチパッドおよび高精度タッチパッド)

初期設定では、4 本指タップで[アクションセンター]が開きます。4 本の指でタッチパッドゾーンを軽く叩くと、ジェスチャが実行されます。

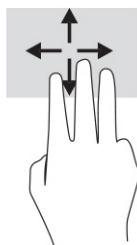


高精度タッチパッド上でのこのジェスチャの機能を変更するには、[スタート]→[設定]→[Bluetooth とデバイス]→[タッチパッド]の順に選択します。[4 本指ジェスチャ]の[タップ]ボックスで、ジェスチャ設定を選択します。

3 本指スワイプ (タッチパッドおよび高精度タッチパッド)

初期設定では、3 本指スワイプで、開いているアプリとデスクトップが切り替わります。

- 3 本の指を手前から奥に滑らせると、開いているすべてのウィンドウが表示されます。
- 3 本の指を奥から手前に滑らせると、デスクトップが表示されます。
- 3 本の指を左または右に滑らせると、開いているウィンドウが切り替わります。

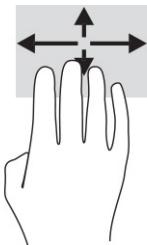


高精度タッチパッド上でのこのジェスチャの機能を変更するには、[スタート]→[設定]→[Bluetooth とデバイス]→[タッチパッド]の順に選択します。[3 本指ジェスチャ]の[スワイプ]ボックスで、ジェスチャ設定を選択します。

4 本指スワイプ (高精度タッチパッド)

初期設定では、4 本指スワイプで、開いているデスクトップが切り替わります。

- 4本の指を手前から奥に滑らせると、開いているすべてのウィンドウが表示されます。
- 4本の指を奥から手前に滑らせると、デスクトップが表示されます。
- 4本の指を左または右に滑らせると、デスクトップが切り替わります。

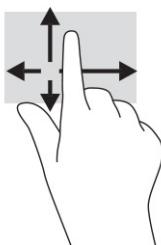


このジェスチャの機能を変更するには、[スタート]→[設定]→[Bluetooth とデバイス]→[タッチパッド]の順に選択します。[4本指ジェスチャ]の[スワイプ]ボックスで、ジェスチャ設定を選択します。

1本指スライド (タッチスクリーン)

1本指スライドを使用すると、一覧やページを上下左右にスクロールしたり、オブジェクトを移動させたりできます。

- 画面をスクロールするには、画面上で移動したい方向に1本の指を軽く滑らせます。
- オブジェクトを移動させるには、オブジェクトをタップしたままの状態で指を滑らせます。



別売のキーボードまたはマウスの使用

別売のキーボードまたはマウスを使用すると、入力、項目の選択、スクロールができ、タッチジェスチャを使用する場合と同じ機能の実行が可能です。キーボードを使用すると、操作キーおよび **fn** キーと機能キーなどを組み合わせて使用するホットキーを使って特定の機能も実行できます。

スクリーンキーボードの使用 (一部の製品のみ)

以下の手順は、スクリーンキーボードの使用方法について説明しています。

スクリーンキーボードは、いくつかの方法で表示できます。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「スクリーンキーボード」と入力して、[スクリーンキーボード]を選択します。

または

2. Windows キー + **ctrl** + **o** キーを押します。

☞ **注記** : スクリーン キーボード上部に単語の候補が表示される場合があります。文字をタップして選択します。

☞ **注記** : 操作キーおよびホットキーは、スクリーン キーボードでは表示されないため、利用できません。

6 エンターテインメント機能

HP コンピューターを仕事や遊びに使用して、カメラ経由で他のユーザーと話をしたり、オーディオとビデオを組み合わせたり、プロジェクター、モニター、テレビ、およびスピーカーなどの外付けデバイスを接続したりできます。

お使いのコンピューターのオーディオ、ビデオ、およびカメラ機能を確認するには、[5ページの「各部の名称と機能概要」](#)を参照してください。

カメラの使用（一部の製品のみ）

お使いのコンピューターには1つまたは複数のカメラがあり、仕事や遊びで他のユーザーとやり取りできます。ほとんどのカメラで、ビデオチャットを利用したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりできます。カメラは、前面カメラまたは背面カメラです。

お使いの製品に備わっているカメラを確認するには、[5ページの「各部の名称と機能概要」](#)を参照してください。カメラを使用するには、タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「カメラ」と入力して、[カメラ]を選択します。一部の製品では、HD (High-Definition) 機能、ゲーム用アプリ、または[Windows Hello]などの顔認識ソフトウェアを利用できます。[Windows Hello]の使用について詳しくは、[48ページの「セキュリティ」](#)を参照してください。

カメラプライバシー カバーでレンズを覆うことで、コンピューターのプライバシーを強化できます。初期設定の状態では、カメラのレンズは隠れていませんが、カメラプライバシー カバーをスライドさせてカメラの視野を覆うことができます。カメラを使用するには、カメラプライバシー カバーを反対方向にスライドさせてレンズが見えるようにします。

オーディオの使用

音楽のダウンロードや再生、Web上のオーディオコンテンツ（ラジオなど）のストリーミング、オーディオの録音、オーディオとビデオの組み合わせによるマルチメディアの作成などが可能です。コンピューターで音楽CDを再生したり（一部の製品）、外付けオプティカル ドライブを接続してCDを再生したりできます。

オーディオを聴く楽しみを広げるには、ヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。

スピーカーの接続

有線のスピーカーをコンピューターに接続する場合は、コンピューターまたはドッキングステーションのUSBポートまたはオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボコネクタに接続します。

無線スピーカーをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。HD 対応スピーカーをコンピューターに接続するには、[38ページの「HDMI オーディオの設定」](#)を参照してください。スピーカーを接続する前に、音量設定を下げます。

ヘッドフォンの接続

有線のヘッドフォンは、コンピューターのオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボコネクタに接続できます。

- △ **警告！**突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量設定を下げてからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「HP Documentation」と入力して[HP Documentation]を選択します。

無線のヘッドフォンをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

ヘッドセットの接続

ヘッドセットは、コンピューターのオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボコネクタに接続できます。

単独のマイクは、USB ポートに接続できます。製造元の説明書を参照してください。

- △ **警告！**突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量設定を下げてからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「HP Documentation」と入力して[HP Documentation]を選択します。

マイク付きのヘッドフォンは「ヘッドセット」と呼ばれます。有線のヘッドセットは、コンピューターのオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボコネクタに接続できます。

無線ヘッドセットをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

サウンド設定の使用

サウンド設定を使用して、システム音量の調整、システム サウンドの変更、またはオーディオ デバイスの管理を行います。

サウンド設定の表示または変更

サウンド設定を表示または変更するには、以下の操作を行います。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「コントロール パネル」と入力して、[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]の順に選択します。

コントロールパネルを使用したオーディオ設定の表示および調整

オーディオ コントロールパネルを使用して、サウンド設定を表示または変更できます。

お使いのコンピューターには、Bang & Olufsen、DTS、Beats Audio、Poly Studio 等による高度なサウンドシステムが含まれている場合があります。そのため、お使いのサウンドシステム専用のオーディ

オーディオコントロールパネルで制御可能な、高度なオーディオ機能をお使いのコンピューターに組み込まれていることがあります。

オーディオコントロールパネルを使用して、オーディオの設定を表示および調整します。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「コントロールパネル」と入力して、[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]の順に選択し、お使いのシステムに固有のオーディオコントロールパネルを選択します。

動画の視聴

お使いのコンピューターはパワフルなビデオデバイスであり、お気に入りのWebサイトの動画のストリーミングを視聴したり、動画や映画をダウンロードしてネットワークに接続していないときにコンピューター上で視聴したりできます。

コンピューターのビデオコネクタのどれかに外付けモニター、プロジェクター、またはテレビを接続することで、視聴の楽しみが広がります。

 **重要:** 外付けデバイスが、正しいケーブルを使用してコンピューター上の正しいコネクタに接続されていることを確認してください。デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

ビデオ機能の使用について詳しくは、[HP Support Assistant]を参照してください。

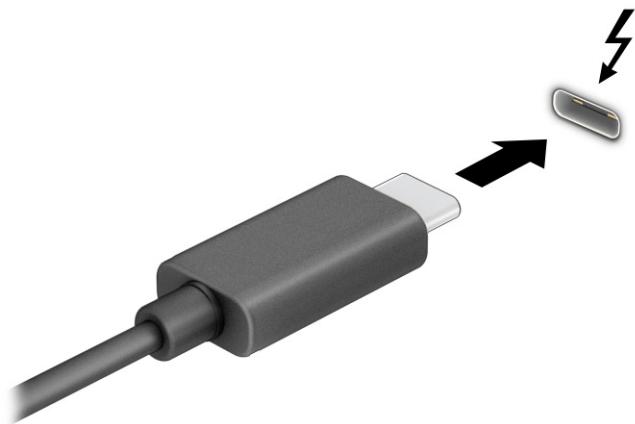
USB Type-C ケーブルを使用した DisplayPort デバイスの接続 (一部の製品のみ)

USB Type-C ケーブルを使用して DisplayPort デバイスを接続します。

 **注記:** USB Type-C DisplayPort デバイスをコンピューターに接続するには、別売の USB Type-C ケーブルが必要です。

外付けの DisplayPort デバイスの画面にビデオまたは高解像度の出力を表示するには、以下の操作を行って DisplayPort デバイスを接続します。

- USB Type-C ケーブルの一方の端をコンピューターの USB Type-C ポートおよび DisplayPort に接続します。



- ケーブルのもう一方の端を外付けの DisplayPort デバイスに接続します。

3. **f1** キーを押すと、表示状態が以下の 4 つの間で切り替わります。

- **PC 画面のみ**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
- **複製**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
- **拡張**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
- **セカンドスクリーンのみ**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。

f1 キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

 **注記**：最適な状態で使用するには、以下の操作を行って外付けデバイスの解像度を上げてください（特に**拡張**オプションを選択した場合）。[スタート]ボタン→[設定]→[システム]→[ディスプレイ]の順に選択します。[拡大縮小とレイアウト]で、適切な解像度を選択して、[変更の維持]を選択します。

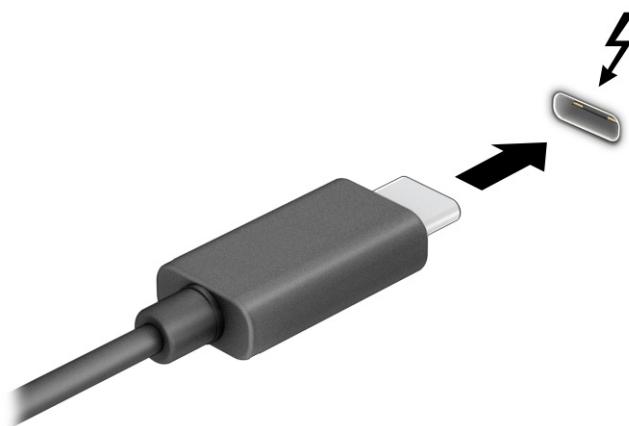
USB Type-C ケーブルを使用した Thunderbolt デバイスの接続(一部の製品のみ)

外付けの Thunderbolt デバイスの画面にビデオまたは高解像度の出力を表示するには、以下の操作を行います。

 **注記**：USB Type-C Thunderbolt デバイスをコンピューターに接続するには、別売の USB Type-C ケーブルが必要です。

以下の手順に従って、Thunderbolt デバイスを接続します。

1. USB Type-C ケーブルの一方の端をコンピューターの USB Type-C Thunderbolt ポートに接続します。



2. ケーブルのもう一方の端を外付けの Thunderbolt デバイスに接続します。

3. **f1** キーを押すと、表示状態が以下の 4 つの間で切り替わります。

- **PC 画面のみ**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
- **複製**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。

- **拡張**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
 - **セカンドスクリーンのみ**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。
- f1** キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

 **注記**：最適な状態で使用するには、以下の操作を行って外付けデバイスの解像度を上げてください（特に**拡張**オプションを選択した場合）。[スタート]ボタン→[設定]→[システム]→[ディスプレイ]の順に選択します。[拡大縮小とレイアウト]で、適切な解像度を選択して、[変更の維持]を選択します。

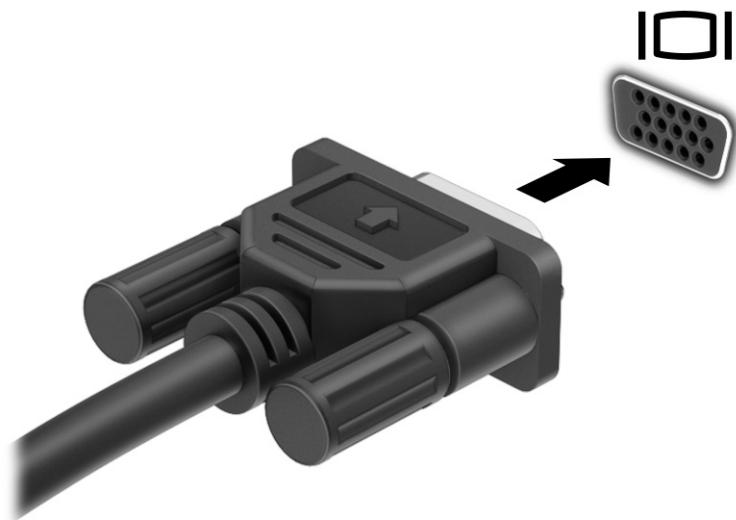
VGA ケーブルを使用したビデオ デバイスの接続（一部の製品のみ）

コンピューターの表示画面を外付けの VGA モニターまたはプロジェクターに切り替えてプレゼンテーションを行うには、以下の操作を行います。

 **注記**：VGA ビデオ デバイスをコンピューターに接続するには、別売の VGA ケーブルが必要です。

以下の手順に従って、モニターまたはプロジェクターをコンピューターの VGA コネクタに接続します。

1. モニターまたはプロジェクターとコンピューターの VGA コネクタを、以下の図のように VGA ケーブルで接続します。



2. **f4** キーを押すと、表示状態が以下の 4 つの間で切り替わります。
- **PC 画面のみ**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
 - **複製**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
 - **拡張**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
 - **セカンドスクリーンのみ**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。

f4 キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

 **注記 :** 最適な状態で使用するには、以下の操作を行って外付けデバイスの解像度を上げてください(特に**[拡張]**オプションを選択した場合)。[スタート]ボタン→[設定]→[システム]の順に選択し、[ディスプレイ]を選択します。[拡大縮小とレイアウト]で、適切な解像度を選択して、[変更の維持]を選択します。

HDMI ケーブルを使用したビデオ デバイスの接続 (一部の製品のみ)

HDMI は、HD 対応動画およびオーディオをサポートするビデオインターフェイスです。

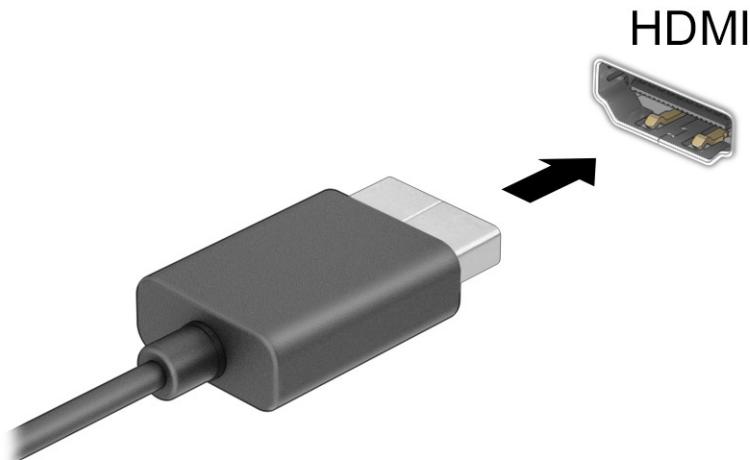
HDMI を使用した HD 対応のテレビまたはモニターの接続

HD 対応のテレビまたはモニターでコンピューターの表示画面を見るには、以下の手順に従って HD 対応のデバイスを接続します。

 **注記 :** HDMI デバイスをコンピューターに接続するには、別売の HDMI ケーブルが必要です。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI ポートに接続します。

 **注記 :** HDMI ポートの形状は、モデルによって異なります。



2. ケーブルのもう一方の端を HD 対応のテレビまたはモニターに接続します。
3. **f4** キーを押すと、表示状態が以下の 4 つの間で切り替わります。
 - **PC 画面のみ** : コンピューター本体の画面にのみ表示します。
 - **複製** : コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
 - **拡張** : コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
 - **セカンドスクリーンのみ** : 外付けデバイスの画面にのみ表示します。

f4 キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

 **注記：**最適な状態で使用するには、以下の操作を行って外付けデバイスの解像度を上げてください(特に[拡張]オプションを選択した場合)。[スタート]ボタン→[設定]→[システム]の順に選択し、[ディスプレイ]を選択します。[拡大縮小とレイアウト]で、適切な解像度を選択して、[変更の維持]を選択します。

HDMI オーディオの設定

HDMI オーディオを設定するには、以下の操作を行います。

HDMI オーディオの有効化

HDMI 対応のテレビをコンピューターに接続した後、HDMI オーディオをオンにできます。

お使いのコンピューターの構成に応じて、以下のどれかの操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンを右クリックして、[サウンド設定]をクリックします。
2. [More sound settings] (その他のサウンド設定) を選択します。
3. [再生]タブの[デジタルオーディオ (HDMI)]を選択します。
4. [既定値に設定]→[OK]の順に選択します。

HDMI オーディオの無効化

オーディオの再生をコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

お使いのコンピューターの構成に応じて、以下のどれかの操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンを右クリックして、[サウンド設定]をクリックします。
2. [More sound settings] (その他のサウンド設定) を選択します。
3. [再生]タブで、[スピーカー]を選択します。
4. [既定値に設定]→[OK]の順に選択します。

マルチストリーム トランスポートを使用した有線ディスプレイの検出および接続

マルチストリーム トランスポート (MST) では、お使いのコンピューターまたは別売の外付けのハブやドッキング デバイスに装備されている VGA コネクタまたは DisplayPort に接続することで、複数の有線ディスプレイをコンピューターに接続できます。

接続する方法は、コンピューターに取り付けられているグラフィックス コントローラーの種類およびコンピューターに内蔵ハブがあるかどうかによって異なります。どのようなハードウェアがコンピューターに取り付けられているかを調べるには、[デバイスマネージャー]にアクセスします。

別売のハブを使用した、AMD または NVIDIA グラフィックス搭載コンピューターへのディスプレイの接続

複数のディスプレイのセットアップを行うには、以下の操作を行います。

 **注記 :** AMD® グラフィックスコントローラーおよび別売のハブを使用すると、お使いのコンピューターのモデルに応じて、最大 6 台の外付けディスプレイを接続できます。

1. DP-DP ケーブル（別売）を使用して、外付けのハブ（別売）をコンピューターの DisplayPort（DP）に接続します。ハブの電源アダプターが外部電源に接続されていることを確認します。
2. 外付けディスプレイをハブの VGA コネクタまたは DisplayPort に接続します。
3. 接続済みのディスプレイをすべて表示するには、タスクバーの [検索] アイコンを選択し、検索ボックスで「デバイスマネージャー」と入力して、[デバイスマネージャー] アプリを選択します。接続済みのディスプレイのすべてが表示されない場合は、各ディスプレイがハブの正しいコネクタに接続されていることを確認します。

 **注記 :** 複数ディスプレイのオプションには、有効なすべてのディスプレイにコンピューターの画面をミラーリングする [複製]、または有効なすべてのディスプレイにわたってコンピューターの画面を表示する [拡張] が含まれます。

別売のハブを使用した、Intel グラフィックス搭載コンピューターへのディスプレイの接続

複数のディスプレイのセットアップを行うには、以下の操作を行います。

 **注記 :** Intel® グラフィックスコントローラーおよび別売のハブを使用すると、最大 3 台のディスプレイを接続できます。

1. DP-DP ケーブル（別売）を使用して、外付けのハブ（別売）をコンピューターの DisplayPort に接続します。ハブの電源アダプターが外部電源に接続されていることを確認します。
2. 外付けディスプレイをハブの VGA コネクタまたは DisplayPort に接続します。
3. DisplayPort ハブに接続されているモニターが Windows によって検出されると、[DisplayPort トポロジー通知] ダイアログボックスが表示されます。適切なオプションを選択して、ディスプレイを設定します。複数ディスプレイのオプションには、有効なすべてのディスプレイにコンピューターの画面をミラーリングする [複製]、または有効なすべてのディスプレイにわたって画面を表示する [拡張] が含まれます。

 **注記 :** このダイアログボックスが表示されない場合は、外付けの各ディスプレイがハブの正しいコネクタに接続されていることを確認します。[スタート] ボタン→[設定]→[システム]→[ディスプレイ] の順に選択します。[拡大縮小とレイアウト] で、適切な解像度を選択して、[変更の維持] を選択します。

ハブを内蔵した、インテル グラフィックス搭載コンピューターへのディスプレイの接続

複数のディスプレイのセットアップを行うには、以下の操作を行います。

内蔵ハブおよびインテル グラフィックス コントローラーを使うと、以下の構成で最大 3 台のディスプレイを接続できます。

- 2 台の 1920×1200 の DisplayPort モニターをコンピューターに、1 台の 1920×1200 の VGA モニターを別売のドッキングステーションに接続
 - 1 台の 2560×1600 の DisplayPort モニターをコンピューターに、1 台の 1920×1200 の VGA モニターを別売のドッキングステーションに接続
1. 外付けディスプレイをコンピューターまたはドッキングステーションの VGA コネクタまたは DisplayPort に接続します。
 2. DisplayPort ハブに接続されているモニターが Windows によって検出されると、[DisplayPort トポロジー通知]ダイアログボックスが表示されます。適切なオプションを選択して、ディスプレイを設定します。複数ディスプレイのオプションには、有効なすべてのディスプレイにコンピューターの画面をミラーリングする[複製]、または有効なすべてのディスプレイにわたって画面を表示する[拡張]が含まれます。

 **注記:** このダイアログボックスが表示されない場合は、外付けの各ディスプレイがハブの正しいコネクタに接続されていることを確認します。[スタート]ボタン→[設定]→[システム]の順に選択し、[ディスプレイ]を選択します。[拡大縮小とレイアウト]で、適切な解像度を選択して、[変更の維持]を選択します。

Miracast 対応無線ディスプレイの検出および接続（一部の製品のみ）

使用中のアプリを終了することなく Miracast[®]対応無線ディスプレイを検出および接続するには、以下の操作を行います。

 **注記:** お使いのディスプレイの種類（Miracast 対応または Intel[®] WiDi）を確認するには、テレビまたはセカンダリディスプレイに付属の説明書を参照してください。

使用中のアプリを終了することなく Miracast 対応無線ディスプレイを検出および接続するには、以下の操作を行います。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「投影」と入力して[ワイヤレスディスプレイに接続する]を選択します。[接続]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

データ転送の使用

お使いのコンピューターはパワフルなエンターテインメントデバイスであり、USB デバイスから写真、動画、および映画を転送してコンピューターで表示できます。

コンピューターの USB Type-C ポートに、携帯電話、カメラ、活動量計、スマートウォッチなどの USB デバイスを接続してコンピューターにファイルを転送することで、活用方法や範囲が広がります。

 **重要:** 外付けデバイスが、正しいケーブルを使用してコンピューター上の正しいコネクタに接続されていることを確認してください。デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

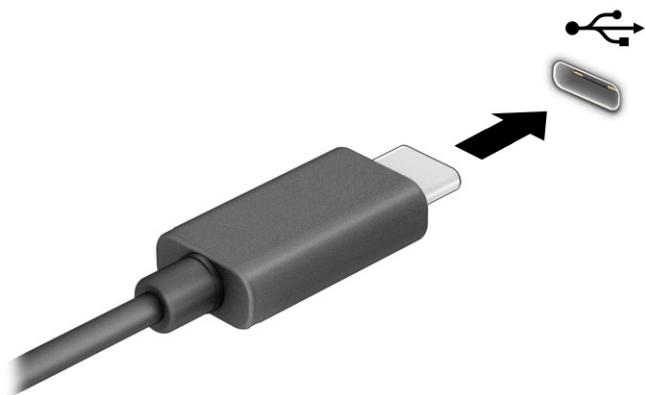
USB Type-C 機能の使用について詳しくは、[HP Support Assistant]を参照してください。

USB Type-C ポートへのデバイスの接続 (一部の製品のみ)

USB Type-C ポートにデバイスを接続するには、以下の操作を行います。

 **注記 :** USB Type-C デバイスをコンピューターに接続するには、別売の USB Type-C ケーブルが必要です。

1. USB Type-C ケーブルの一方の端をコンピューターの USB Type-C ポートに接続します。



2. ケーブルのもう一方の端を外付けデバイスに接続します。

7 電源の管理

お使いのコンピューターは、バッテリ電源または外部電源で動作します。コンピューターがバッテリ電源で動作しており、外部電源を使用してバッテリを充電することができない場合は、バッテリ残量を監視し、節約することが重要です。

この章で説明されている一部の電源管理機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

スリープおよび休止状態の使用

Windowsには、スリープと休止状態の2つの省電力設定があります。

- **スリープ**：操作しない状態が一定時間続いた場合に、スリープ状態が自動的に開始されます。作業中のデータがメモリに保存されるため、すばやく作業を再開できます。スリープは手動で開始することもできます。お使いのコンピューターのモデルによって、スリープ状態はモダンスタンバイモードもサポートしている場合があります。このモードでは内部の動作の一部が起動状態のままになり、お使いのコンピューターはスリープ状態のときに電子メールなどのWeb通知を受信できます。詳しくは、[42ページの「スリープの開始および終了」](#)を参照してください。
- **休止状態**：休止状態は、バッテリが完全なロー・バッテリ状態になった場合、またはコンピューターのスリープ状態が長時間続いた場合に自動的に開始されます。休止状態では、作業中のデータは休止状態ファイルに保存され、コンピューターの電源が切れます。休止状態は手動で開始することもできます。詳しくは、[43ページの「休止状態の開始および終了（一部の製品のみ）」](#)を参照してください。

 **重要：**スリープ状態のコンピューターには、いくつかの脆弱性が存在することがよく知られています。お使いのコンピューターのデータへの不正アクセスを防ぐため、データが暗号化されていたとしても、コンピューターから物理的に離れる場合は、スリープではなく必ず休止状態にすることをおすすめします。特に、コンピューターを持ち運ぶ場合にこの操作は重要です。

 **重要：**オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディアカードの読み取りまたは書き込み中にスリープを開始しないでください。

スリープの開始および終了

スリープ状態を開始するには、いくつかの方法で開始できます。

- [スタート]ボタン→[電源]アイコン→[スリープ]の順に選択します。
- ディスプレイを閉じます（一部の製品のみ）。
- スリープのホットキー（例：fn + f1キーまたはfn + f12キー）を押します（一部の製品のみ）。
- 電源ボタンを短く押します（一部の製品のみ）。

スリープ状態を終了するには、以下のどれかの操作を行います。

- 電源ボタンを短く押します。
- ディスプレイが閉じている場合は、ディスプレイを持ち上げて開きます（一部の製品のみ）。

- キーボードのキーを押します（一部の製品のみ）。
- タッチパッドをタップします（一部の製品のみ）。

コンピューターがスリープを終了すると、作業していた画面に戻ります。

☞ **重要：**スリープを終了するときにパスワードが必要となるように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

休止状態の開始および終了（一部の製品のみ）

[電源オプション]を使用すると、ユーザーが開始する休止状態を有効にしたり、その他の電源設定およびタイムアウトを変更したりできます。

1. タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「電源」と入力して、[電源プランの選択]を選択します。
2. 左側の枠内で、[電源ボタンの動作を選択する]（製品によって表記が異なる場合があります）を選択します。
3. お使いの製品によって、以下のどれかの方法でバッテリ駆動時または外部電源接続時の休止状態を有効にできます。
 - 電源ボタン：[電源とスリープボタンおよびカバーの設定]（製品によって表記が異なる場合があります）の[電源ボタンを押したときの動作]で、[休止状態]を選択します。
 - スリープボタン（一部の製品のみ）：[電源とスリープボタンおよびカバーの設定]（製品によって表記が異なる場合があります）の[スリープボタンを押したときの動作]で、[休止状態]を選択します。
 - カバー（一部の製品のみ）：[電源とスリープボタンおよびカバーの設定]（製品によって表記が異なる場合があります）の[カバーを閉じたときの動作]で、[休止状態]を選択します。
 - [電源]メニュー：[現在利用可能ではない設定を変更します]を選択してから、[シャットダウン設定]で[休止状態]のチェックボックスにチェックを入れます。

[電源]メニューには、[スタート]ボタンを選択してアクセスできます。

4. [変更の保存]を選択します。

休止状態を開始するには、手順 3 で有効にした方法を使用します。

休止状態を終了するには、電源ボタンを短く押します。

☞ **重要：**休止状態を終了するときにパスワードが必要となるように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

コンピューターのシャットダウン

[シャットダウン]コマンドを使用すると、オペレーティングシステムを含む、開いているすべてのプログラムが終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源が切れます。長期間コンピューターを使用せず、外部電源にも接続しない場合は、コンピューターをシャットダウンしてください。

☞ **重要：**コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。必ず作業中のデータを保存してからコンピューターをシャットダウンしてください。

Windows の[シャットダウン]コマンドの使用をおすすめします。

 **注記 :**コンピューターがスリープまたは休止状態の場合は、まず電源ボタンを短く押してスリープまたは休止状態を終了してください。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]ボタン→[電源]アイコン→[シャットダウン]の順に選択します。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急手順を記載されている順に試みてください。

1. **ctrl + alt + delete** キーを押してから、[電源]アイコン→[シャットダウン]の順に選択します。
2. 電源ボタンを 4 秒以上押したままにします。
3. ユーザーによる交換が可能なバッテリ（一部の製品のみ）を搭載したコンピューターの場合は、コンピューターを外部電源から切断してから、バッテリを取り外します。

[電源]アイコンの使用

[電源]アイコンは、Windows タスクバーにあります。[電源]アイコンを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリ充電残量を表示したりできます。

- バッテリ充電残量率を表示するには、[電源]アイコン  にマウス カーソルを合わせます。
- 電源の設定を表示するには、[電源]アイコン  を右クリックして、[電源とスリープの設定]を選択します。

コンピューターがバッテリ電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[電源]アイコンの形の違いで判断できます。このアイコンの上にマウス カーソルを置くと、バッテリがローバッテリ状態または完全なローバッテリ状態になった場合に該当するメッセージが表示されます。

バッテリ電源での動作

コンピューターのバッテリが充電され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリ電源で動作します。コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリは徐々に放電していきます。コンピューターには、バッテリがローバッテリ状態または完全なローバッテリ状態になった場合にメッセージが表示されます。

 **警告！**けがや事故、および機器の故障などの安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリ、HP が提供する交換用バッテリ、または HP から購入した対応するバッテリを使用してください。

バッテリは消耗品です。バッテリ電源での駆動時間およびバッテリの寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

 **注記 :**一部のコンピューター製品では、グラフィックス コントローラーを切り替えてバッテリ充電残量を節約できます。

HP ファスト チャージの使用 (一部の製品のみ)

HP ファスト チャージ機能によって、お使いのコンピューターのバッテリをすばやく充電できます。充電時間は±10%の範囲で異なる場合があります。バッテリ充電残量が 0~50%の場合、お使いのコンピューターのモデルに応じて、バッテリは 30~45 分以内に全容量の 50%まで充電されます。

HP ファスト チャージを使用するには、お使いのコンピューターをシャットダウンしてから、最大充電仕様に適合した外部電源アダプターをコンピューターおよび外部電源に接続します。

バッテリ充電残量の表示

バッテリ充電残量率を表示するには、[電源]アイコン  にマウス カーソルを合わせます。

[HP Support Assistant]でのバッテリ情報の検索 (一部の製品のみ)

バッテリ情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコン (一部の製品のみ) を選択します。
2. [修正と診断]→[バッテリのチェック]→[起動]の順に選択します。[HP バッテリ チェック]にバッテリを交換する必要があると表示されている場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

[HP Support Assistant]では、バッテリに関する以下のツールおよび情報が提供されます。

- HP バッテリ チェック
- バッテリの種類、仕様、ライフサイクル、および容量に関する情報

バッテリの節電

バッテリ充電残量を節約してバッテリでの駆動時間を最長化するには、以下の操作を行います。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- 使用していない無線デバイスをオフにします。
- USB ポートに接続している外付けハードドライブなど、外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディアカードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープ状態にするか、コンピューターの電源を切ります。

ローバッテリ状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにバッテリがローバッテリ状態または完全なローバッテリ状態になった場合は、コンピューターからいくつかの方法のいずれかで警告が出されます。

- バッテリ ランプ (一部の製品のみ) が、ローバッテリ状態または完全なローバッテリ状態になっていることを示します。

または

- [電源]アイコン  が、ロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になっていることを通知します。

 **注記:** 電源アイコンについて詳しくは、[44 ページの「\[電源\]アイコンの使用」](#)を参照してください。

完全なロー バッテリの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- 休止状態が無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態が続いた後、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。
- 休止状態が有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、休止状態が開始します。

ロー バッテリ状態への対処

ロー バッテリ状態には、すばやく対処することができます。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリ状態への対処方法

以下のデバイスのどれかをコンピューターおよび外部電源に接続します。

- コンピューターに付属の HP 製外部電源アダプター (一部の製品のみ)
- 製品ラベルに記載された電源定格の外部電源アダプター
- 別売のドッキングデバイスまたは拡張製品
- HP からオプション製品として購入した電源アダプター

外部電源を使用できない場合のロー バッテリ状態への対処方法

作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

休止状態を終了できない場合のロー バッテリ状態への対処方法

バッテリ残量が少なくなり、休止状態から復旧できない場合は、追加手順が必要になります。コンピューターに付属の外部電源アダプター (一部の製品のみ) または製品ラベルに記載された電源定格の外部電源アダプターを接続してから、以下の操作を行います。

1. 外部電源アダプターをコンピューターおよび外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを押して、休止状態を終了します。

出荷時に搭載されているバッテリ

バッテリの状態を確認する場合、またはバッテリが充電されなくなった場合は、以下の操作を行って、[HP Support Assistant] アプリで[HP バッテリ チェック]を実行してください (一部の製品のみ)。

1. タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant] アプリを選択します。

または

タスクバーにある疑問符のアイコン (一部の製品のみ) を選択します。

2. [修正と診断]→[バッテリのチェック]→[起動]の順に選択します。[HP バッテリ チェック]にバッテリを交換する必要があると表示されている場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

この製品のバッテリは、ユーザー自身で簡単に交換することはできません。バッテリを取り外したり交換したりすると、保証が適用されない場合があります。バッテリが充電されなくなった場合は、サポート窓口にお問い合わせください。

外部電源での駆動

外部電源の接続について詳しくは、コンピューターに付属の印刷物の『セットアップ手順』ポスターを参照してください。

以下のどちらかの方法でコンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターはバッテリ電源を使用しません。

- HP 製外部電源アダプター
- 製品ラベルに記載された電源定格の外部電源アダプター
- 別売のドッキング デバイスまたは拡張製品

△ **警告！** 安全性に関する問題の発生を防ぐため、HP の純正外部電源アダプターのみを使用することをおすすめします。

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリを充電しないでください。

以下のどちらかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

- バッテリを充電するか、バッテリ ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは更新する場合
- システム BIOS を更新する場合
- ディスクに情報を書き込む場合（一部の製品のみ）
- 内蔵ハードドライブが搭載されているコンピューターで[ディスク デフラグ]を実行する場合
- バックアップまたは復元を実行する場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリの充電が開始されます。
- [電源]アイコン  の形状が変わります。

外部電源を取り外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリに切り替わります。
- [電源]アイコン  の形状が変わります。

8 セキュリティ

コンピューターのセキュリティは、情報の機密性、整合性、および可用性を保つために重要です。Windows オペレーティングシステム、HP アプリケーション、[HP Computer Setup] (BIOS)、およびその他の他社製ソフトウェアの標準のセキュリティソリューションによって、コンピューター ウィルスやワームおよびその他の種類の悪質なコードなどのさまざまなリスクからお使いのコンピューターを保護するようにしてください。

 **注記:** この章に記載されている一部のセキュリティ機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

コンピューターの保護

Windows オペレーティングシステムおよび Windows の[Computer Setup]ユーティリティ (BIOS。どのオペレーティングシステムでも実行されます) によって提供される標準のセキュリティ機能により、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

 **注記:** セキュリティソリューションには、抑止効果があります。ただし、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

 **注記:** コンピューターを修理などのためにサポート宛てに送付する場合は、機密性の高いファイルのバックアップと削除、およびすべてのパスワード設定の削除を事前に行ってください。

 **注記:** この章に記載されている一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

 **注記:** お使いのコンピューターでは、オンラインセキュリティベースの追跡および復元サービスである[Computrace]がサポートされています(一部の地域のみ)。コンピューターが盗難に遭ったりコンピューターを紛失したりしたときに、不正なユーザーがそのコンピューターからインターネットにアクセスすると、[Computrace]による追跡が行われます。[Computrace]を使用するには、ソフトウェアを購入し、サービス登録を行う必要があります。[Computrace]ソフトウェアの購入については、<http://www.hp.com> を参照してください。

表8-1 セキュリティソリューション

コンピューターへの脅威	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	<ul style="list-style-type: none">パスワード、スマートカード、非接触型カード、登録した指紋、またはその他の認証資格情報と、[HP Client Security]ソフトウェアの組み合わせBIOS power-on password (BIOS 電源投入時パスワード)
[Computer Setup] (BIOS) への不正アクセス	[Computer Setup]の BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) *
ハードドライブのデータへの不正なアクセス	[Computer Setup]の DriveLock パスワード (一部の製品のみ) *
別売の外付けオプティカルドライブ (一部の製品のみ)、別売の外付けハードドライブ (一部の製品のみ)、または内蔵ネットワークアダプターからの不正な起動	[Computer Setup]の[Boot options] (ブートオプション) 機能 *
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	Windows ユーザー パスワード

表 8-1 セキュリティ ソリューション (続き)

コンピューターへの脅威	セキュリティ機能
データへの不正なアクセス	Windows BitLocker
コンピューターの不正な取り外し	セキュリティ ロックケーブル用スロット (別売のセキュリティ ロックケーブルとともに使用) (一部の製品のみ)

* [Computer Setup]は、ROM ベースの内蔵ユーティリティです。オペレーティングシステムが動いていない場合や読み込まれない場合でも使用できます。[Computer Setup]で項目間を移動したり項目を選択したりするには、ポインティングデバイス (タッチパッド、ポイントスティック、または USB マウス) またはキーボードを使用します。

 **注記 :** キーボードが取り付けられていないタブレットでは、タッチスクリーンを使用できます。

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じて、複数の種類のパスワードを設定できます。パスワードは、コンピューターにプリインストールされている Windows または[HP Computer Setup]で設定できます。

- BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード)、Power-on password (電源投入時パスワード)、および DriveLock パスワードは[HP Computer Setup]で設定され、システム BIOS によって管理されます。
- Windows パスワードは、Windows オペレーティングシステムでのみ設定されます。
- [HP Computer Setup]で設定した DriveLock の user password (ユーザー パスワード) および DriveLock の master password (マスター パスワード) の両方を忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになり、恒久的に使用できなくなります。

[Computer Setup]の機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従ってください。
- 同じパスワードを複数のアプリケーションや Web サイトに使用しないでください。また、Windows パスワードを他のアプリケーションや Web サイトに再利用しないでください。
- [HP Client Security]の[Password Manager]機能を使用すると、Web サイトやアプリケーションに対するユーザー名およびパスワードを保存しておけます。それらのユーザー名やパスワードを思い出せなくなった場合に、安全に読み出すことができます。
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しないでください。

以下の表で、一般に使用される Windows パスワードおよび BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を示し、それぞれの機能について説明します。

Windows でのパスワードの設定

Windows パスワードは、不正なアクセスからコンピューターを保護するために役立ちます。

表8-2 Windows のパスワードの種類とそれぞれの機能

パスワード	機能
管理者パスワード*	Windows の管理者レベルのアカウントへのアクセスを保護します。 注記 : Windows の管理者パスワードを設定しても、BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) は設定されません。
ユーザー パスワード*	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します。

* Windows の管理者パスワードまたは Windows のユーザー パスワードの設定については、タスクバーの [検索] アイコンを選択し、検索ボックスに「support」と入力して [HP Support Assistant] アプリを選択します。

[Computer Setup]でのパスワードの設定

[Computer Setup]のパスワードは、お使いのコンピューターのセキュリティを強化するために使用されます。

表8-3 [Computer Setup]のパスワードの種類とそれぞれの機能

パスワード	機能
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) *	[Computer Setup]へのアクセスを保護します。 注記 : BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の削除を防ぐ機能が有効になっている場合、その機能が無効にされるまではパスワードを削除できないことがあります。
Power-on password (電源投入時パスワード)	<ul style="list-style-type: none">設定した場合、コンピューターの電源投入時または再起動時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。設定した Power-on password を忘れる、コンピューターの電源を入れることも、再起動もできなくなります。
DriveLock の master password (マスター パスワード) *	DriveLock によって保護されている内蔵ハード ドライブへのアクセスを保護します。DriveLock を有効にする操作の過程で設定します。このパスワードは、DriveLock による保護の解除にも使用します。
DriveLock の user password (ユーザー パスワード) *	DriveLock によって保護されている内蔵ハード ドライブへのアクセスを保護します。DriveLock を有効にする操作の過程で設定します。

* 各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

新しい BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の設定

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) は、[Computer Setup]への不正アクセスの防止に役立ちます。新しい BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を設定するには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して [Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - タブレットの電源を切ります。電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [**f10**]を選択して[HP Computer Setup]を起動します。
2. [Security] (セキュリティ) →[Create BIOS administrator password] (BIOS 管理者パスワードの作成) または[Set Up BIOS administrator password] (BIOS 管理者パスワードの設定) (一部の製品のみ) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. メッセージが表示されたら、パスワードを入力します。
4. メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力します。
5. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記**：矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、**enter** キーを押す必要があります。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の変更

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を変更するには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して [Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - タブレットの電源を切ります。電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [**f10**]を選択して[HP Computer Setup]を起動します。
2. 現在の BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を入力します。
3. [Security] (セキュリティ) →[Change BIOS administrator password] (BIOS 管理者パスワードの変更) または[Change Password] (パスワードの変更) (一部の製品のみ) の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。

5. メッセージが表示されたら、新しいパスワードを入力します。
6. メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力します。
7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記 :** 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、[enter](#) キーを押す必要があります。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の削除

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を削除するには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら [f10](#) キーを押して [Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - タブレットの電源を切ります。電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [[f10](#)]を選択して[HP Computer Setup]を起動します。
2. 現在の BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を入力します。
3. [Security] (セキュリティ) →[Change BIOS administrator password] (BIOS 管理者パスワードの変更) または[Change Password] (パスワードの変更) (一部の製品のみ) の順に選択し、[enter](#) キーを押します。
4. メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして [enter](#) キーを押します。
6. 再度、新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして、[enter](#) キーを押します。
7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記 :** 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、[enter](#) キーを押す必要があります。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力

[BIOS administrator password](BIOS 管理者パスワード) の入力画面で自分のパスワードを入力し(パスワード設定と同じキーを使用)、[enter](#) キーを押します。2回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動して入力しなおす必要があります。

DriveLock のセキュリティ オプションの使用

DriveLock で保護することによって、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止できます。

DriveLock による保護は、コンピューターの内蔵ハードドライブにのみ設定できます。いったん DriveLock による保護を設定すると、ドライブにアクセスするときに適切なパスワードの入力が必要になります。ドライブのロックを解除するには、ドライブをコンピューターまたはアドバンスト ポート リプリケータに装着しておく必要があります。

DriveLock のセキュリティ オプションには、以下の機能があります。

- **[自動 DriveLock]** : [53 ページの 「自動 DriveLock の選択 \(一部の製品のみ \)」](#) を参照してください。
- **[DriveLock の master password (マスター パスワード) の設定]** : [55 ページの 「手動 DriveLock の選択」](#) を参照してください。
- **DriveLock の有効化** : [56 ページの 「DriveLock の有効化および DriveLock の user password \(ユーザー パスワード \) の設定」](#) を参照してください。

自動 DriveLock の選択 (一部の製品のみ)

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を設定しないと、自動 DriveLock 機能を有効にできません。

自動 DriveLock を有効にすると、その BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) からランダムな DriveLock の user password(ユーザー パスワード) および DriveLock の master password (マスター パスワード) が生成されます。コンピューターの電源投入時には、このランダムな user password (ユーザー パスワード) によってドライブのロックが自動的に解除されます。ドライブを別のコンピューターに移動した場合、ドライブのロックを解除するには、DriveLock パスワードの入力画面で元のコンピューターの BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を入力する必要があります。

自動 DriveLock の有効化

自動 DriveLock を有効にするには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - コンピューターの電源を切ります。
 - 電源ボタンを押し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して[HP Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - タブレットの電源を切ります。
 - 電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら **[f10]** を選択して[HP Computer Setup]を起動します。
2. BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力画面が表示されたら、BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を入力して **enter** キーを押します。

3. [Security](セキュリティ)→[Hard Drive Utilities](ハードドライブ ユーティリティ)→[DriveLock/ Automatic DriveLock] (DriveLock/自動 DriveLock) の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. **enter** キー、マウスの左クリック、またはタッチスクリーンを使用して、[Automatic DriveLock] (自動 DriveLock) チェックボックスにチェックを入れます。
5. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記** : 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、**enter** キーを押す必要があります。

自動 DriveLock の無効化

自動 DriveLock を無効にするには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - a. コンピューターの電源を切ります。
 - b. 電源ボタンを押し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して[HP Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - a. タブレットの電源を切ります。
 - b. 電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [**f10**]を選択して[HP Computer Setup]を起動します。
2. BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力画面が表示されたら、BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を入力して **enter** キーを押します。
3. [Security](セキュリティ)→[Hard Drive Utilities](ハードドライブ ユーティリティ)→[DriveLock/ Automatic DriveLock] (DriveLock/自動 DriveLock) の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. 内蔵ハードドライブを選択し、**enter** キーを押します。
5. **enter** キー、マウスの左クリック、またはタッチスクリーンを使用して、[Automatic DriveLock] (自動 DriveLock) チェックボックスのチェックを外します。
6. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記** : 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、**enter** キーを押す必要があります。

自動 DriveLock パスワードの入力

自動 DriveLock が有効になっている場合、ドライブが元のコンピューターに接続されている間は、ドライブのロックを解除するために DriveLock パスワードの入力を求められることはできません。

ただし、ドライブを別のコンピューターに移動したときや、元のコンピューターでシステムボードを交換したときは、DriveLock パスワードの入力を求められます。この場合は、[DriveLock パスワード] の入力画面で元のコンピューターの BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を入力

し(パスワードを設定したときと同じキーを使用)、[enter](#) キーを押してドライブのロックを解除します。

パスワードを 3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターの電源を切ってから再び起動し、入力しなおしてください。

手動 DriveLock の選択

DriveLock による保護をコンピューターの内蔵ハードドライブに手動で設定するには、[HP Computer Setup]で master password (マスター パスワード) を設定し、DriveLock を有効にしておく必要があります。

 **重要 :** DriveLock で保護されているハードドライブが恒久的に使用できなくなることを防ぐため、DriveLock の user password (ユーザー パスワード) と master password (マスター パスワード) を、紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておいてください。DriveLock パスワードを両方とも忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになり、恒久的に使用できなくなります。

DriveLock による保護を設定するときは、以下の点に注意してください。

- いったん DriveLock による保護を設定すると、DriveLock の user password (ユーザー パスワード) と master password (マスター パスワード) のどちらかを入力することでのみ、保護されているハードドライブにアクセスできるようになります。
- DriveLock の user password (ユーザー パスワード) は、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザーが設定する必要があります。DriveLock の master password (マスター パスワード) は、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザーが設定できます。
- DriveLock の user password (ユーザー パスワード) と DriveLock の master password (マスター パスワード) は、同じであってもかまいません。

DriveLock の master password (マスター パスワード) の設定

DriveLock の master password (マスター パスワード) を設定するには、以下の操作を行います。

- [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - コンピューターの電源を切ります。
 - 電源ボタンを押し、HP のロゴが表示されたら [f10](#) キーを押して[HP Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - タブレットの電源を切ります。
 - 電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [[f10](#)] を選択して[HP Computer Setup]を起動します。
- [Security](セキュリティ)→[Hard Drive Utilities](ハードドライブ ユーティリティ)→[DriveLock/ Automatic DriveLock] (DriveLock/ 自動 DriveLock) の順に選択し、[enter](#) キーを押します。
- 保護するハードドライブを選択して、[enter](#) キーを押します。

4. [Set DriveLock Master Password] (DriveLock の master password の設定) を選択し、[enter](#) キーを押します。
5. 警告メッセージをよくご確認ください。
6. 画面の説明に沿って操作し、DriveLock の master password (マスター パスワード) を設定します。

 **注記 :** [HP Computer Setup]を終了する前に、DriveLock を有効にし、DriveLock の user password (ユーザー パスワード) を設定できます。詳しくは、[56 ページの「DriveLock の有効化および DriveLock の user password \(ユーザー パスワード \) の設定」](#)を参照してください。

7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記 :** 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、[enter](#) キーを押す必要があります。

DriveLock の有効化および DriveLock の user password (ユーザー パスワード) の設定

DriveLock を有効にし、DriveLock の user password (ユーザー パスワード) を設定するには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - a. コンピューターの電源を切ります。
 - b. 電源ボタンを押し、HP のロゴが表示されたら [f10](#) キーを押して[HP Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - a. タブレットの電源を切ります。
 - b. 電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [[f10](#)]を選択して[HP Computer Setup]を起動します。
2. [Security] (セキュリティ) →[Hard Drive Utilities] (ハード ドライブ ユーティリティ) →[DriveLock/ Automatic DriveLock] (DriveLock/ 自動 DriveLock) の順に選択し、[enter](#) キーを押します。
3. 保護するハード ドライブを選択して、[enter](#) キーを押します。
4. [Enable DriveLock] (DriveLock の有効化) を選択し、[enter](#) キーを押します。
5. 警告メッセージをよくご確認ください。
6. 画面の説明に沿って操作し、DriveLock の user password (ユーザー パスワード) を設定し、DriveLock を有効にします。
7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記 :** 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、[enter](#) キーを押す必要があります。

DriveLock の無効化

DriveLock を無効にするには、以下の操作を行います。

1. [HP Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - a. コンピューターの電源を切ります。
 - b. 電源ボタンを押し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して[HP Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - a. タブレットの電源を切ります。
 - b. 電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら **[f10]**を選択して[HP Computer Setup]を起動します。
2. **[Security]**(セキュリティ)→**[Hard Drive Utilities]**(ハードドライブユーティリティ)→**[DriveLock/ Automatic DriveLock]** (DriveLock/自動 DriveLock) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 管理するハードドライブを選択して、**enter** キーを押します。
4. **[Disable DriveLock]** (DriveLock の無効化) を選択し、**enter** キーを押します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作し、DriveLock を無効にします。
6. 変更を保存して[HP Computer Setup]を終了するには、**[Main]** (メイン) →**[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) →**[Yes]** (はい) の順に選択します。

 **注記**：矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、**enter** キーを押す必要があります。

DriveLock パスワードの入力

ハードドライブが、別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなくコンピューター本体のハードドライブベイに装着されていることを確認します。

[DriveLock パスワード]画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して DriveLock の user password (ユーザー パスワード) または master password (マスター パスワード) を入力し、**enter** キーを押します。

パスワードを 3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターの電源を切ってから再び起動し、入力しなおしてください。

DriveLock パスワードの変更

[HP Computer Setup]で DriveLock パスワードを変更するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. 電源ボタンを押します。

3. [DriveLock Password] (DriveLock パスワード) 画面が表示されたら、変更する現在の DriveLock の user password (ユーザー パスワード) または master password (マスター パスワード) を入力し、 **enter** キーを押してから、 **f10** を選択して [HP Computer Setup] を起動します。
 4. [Security] (セキュリティ) → [Hard Drive Utilities] (ハード ドライブ ユーティリティ) → [DriveLock/ Automatic DriveLock] (DriveLock/ 自動 DriveLock) の順に選択し、 **enter** キーを押します。
 5. 管理するハード ドライブを選択して、 **enter** キーを押します。
 6. 変更する DriveLock パスワードを選択し、画面の説明に沿って操作してパスワードを入力します。
-  **注記 :** [Change DriveLock Master Password] (DriveLock マスター パスワード の変更) オプションは、手順 3 の [DriveLock Password] 画面で DriveLock の master password (マスター パスワード) が入力された場合にのみ表示されます。
7. 変更を保存して [HP Computer Setup] を終了するには、 [Main] (メイン) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) → [Yes] (はい) の順に選択します。
-  **注記 :** 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、 **enter** キーを押す必要があります。

[Windows Hello] (一部の製品のみ)

指紋認証システムや赤外線カメラが搭載されている製品では、 [Windows Hello] での指紋登録、顔認証 ID 登録、および PIN 設定が可能です。登録が完了すると、指紋認証システム、顔認証 ID、または PIN を使用して Windows にログインできます。

[Windows Hello] を設定するには、以下の操作を行います。

1. [スタート] ボタン → [設定] → [アカウント] → [サインイン オプション] の順に選択します。
2. パスワードが設定されていない場合は、他のサインイン オプションを使用する前にパスワードを追加する必要があります。 [パスワード] → [追加] の順に選択します。
3. [Facial recognition (Windows Hello)] (顔認識 (Windows Hello)) または [Fingerprint recognition (Windows Hello)] (指紋認識 (Windows Hello)) で [セットアップ] を選択します。
4. [開始する] を選択し、画面の説明に沿って指紋や顔の ID を登録したり、 PIN を設定したりします。

 **重要 :** 指紋認証によるログオンのトラブルを回避するため、指紋認証システムで指紋を登録するときは、指の側面までしっかり登録するようにしてください。

 **注記 :** PIN の長さに制限はありません。初期設定では半角の数字のみを使用します。半角の英字または特殊文字を含めるには、 [英字と記号を含める] チェック ボックスにチェックを入れます。

ウィルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューター ウィルスの危険にさらされる可能性があります。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、プログラム、およびユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスを検出および駆除することができるとともに、通常はウィルスの被害にあった箇所を修復することもできます。新しく発見されたウィルスからコンピューターを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには[Windows Defender]がプリインストールされています。ウィルス対策プログラムを引き続き使用して、お使いのコンピューターを確実に保護することを強くおすすめします。

コンピューター ウィルスについて詳しくは、[HP Support Assistant]を参照してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

ファイアウォールには、システムやネットワークへの不正なアクセスを防ぐように設計されています。ファイアウォールは、お使いのコンピューター、ネットワーク、またはその両方にインストールするソフトウェアプログラムもあれば、ハードウェアとソフトウェアで構成されるソリューションもあります。

検討すべきファイアウォールには以下の 2 種類があります。

- ホストベースのファイアウォール：インストールされているコンピューターだけを保護するソフトウェアです。
- ネットワークベースのファイアウォール：DSL モデムまたはケーブル モデムとホーム ネットワークの間に設置して、ネットワーク上のすべてのコンピューターを保護します。

ファイアウォールをシステムにインストールすると、そのシステムとの間で送受信されるすべてのデータが監視され、ユーザーの定義したセキュリティ基準と比較されます。セキュリティ基準を満たしていないデータはすべてブロックされます。

お使いのコンピューターまたはネットワーク機器には、ファイアウォールがすでにインストールされている場合があります。インストールされていない場合には、ファイアウォール ソフトウェアソリューションを使用できます。

 **注記：**場合によっては、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりする可能性があります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

ソフトウェア更新プログラムのインストール

お使いのコンピューターにインストールされている HP、Windows、および他社製ソフトウェアは、セキュリティの問題を修正するため、およびソフトウェアパフォーマンスを向上させるために、定期的に更新する必要があります。これらの更新プログラムは自動でインストールできます。

 **重要：**Microsoft 社は、セキュリティ更新プログラムなどの Windows の更新プログラムに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン更新プログラムをインストールしてください。

設定を表示または変更するには、以下の操作を行います。

- [スタート]ボタン→[設定]→[Windows Update]の順に選択します。
- 画面の説明に沿って操作します。

3. 更新プログラムをインストールするスケジュールを設定するには、[詳細オプション]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Client Security]の使用 (一部の製品のみ)

[HP Client Security]ソフトウェアは、お使いのコンピューターにプリインストールされています。このソフトウェアには、タスクバーの右端の[HP Client Security]アイコンまたはWindowsの[コントロールパネル]からアクセスできます。このソフトウェアが提供するセキュリティ機能は、コンピューター本体、ネットワーク、および重要なデータを不正なアクセスから保護するために役立ちます。

詳しくは、[HP Client Security]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP TechPulse]の使用 (一部の製品のみ)

[HP TechPulse]は、企業が自社の資産を効果的に管理および保護するための、クラウドベースのITソリューションです。

[HP TechPulse]によって、マルウェアなどの攻撃からデバイスがさらに保護され、デバイスの状態が監視され、デバイスおよびセキュリティの問題を解決するための時間が短縮されます。ソフトウェアをすばやくダウンロードしてインストールでき、従来のソリューションに比べて優れた対費用効果が得られます。詳しくは、<https://www.hpdas.com/>を参照してください。

別売のセキュリティロックケーブルの使用(一部の製品のみ)

セキュリティロックケーブル(別売)に抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。セキュリティロックケーブルをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

指紋認証システムの使用 (一部の製品のみ)

一部の製品では、内蔵の指紋認証システムを使用できます。指紋認証システムを使用するには、[HP Client Security]の[Credential Manager]で指紋を登録する必要があります。詳しくは、[HP Client Security]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[Credential Manager]で指紋を登録すると、[HP Client Security]の[Password Manager]を使用して、対応しているWebサイトやアプリケーションでユーザー名およびパスワードを保存および入力できます。

指紋認証システムは小さい金属製センサーで、コンピューターの以下のどれかの場所にあります。

- 電源ボタン
- タッチパッドの下部付近
- キーボードの右側
- ディスプレイの右上
- ディスプレイの左側
- ディスプレイの背面

製品によって、指紋認証システムは横向きの場合も縦向きの場合もあります。

9 メンテナンス

定期的なメンテナンスを行うことで、コンピューターを最適な状態に保ちます。この章では、[ディスク デフラグ]や[ディスク クリーンアップ]などのツールを使用する方法について説明します。また、プログラムおよびドライバーの更新方法、コンピューターの清掃手順、およびコンピューターの持ち運び（または送付）に関する情報も提供します。

パフォーマンスの向上

[ディスク デフラグ]や[ディスク クリーンアップ]などのツールを使用して定期的なメンテナンス作業を実行することにより、コンピューターのパフォーマンスを向上させることができます。

[ディスク デフラグ]の使用

少なくとも1か月に1度、[ディスク デフラグ]を使用してハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。

 **注記 :** SSD (Solid State Drive) では、[ディスク デフラグ]を実行する必要はありません。

[ディスク デフラグ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続します。
2. タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「デフラグ」と入力して、[ドライブのデフラグと最適化]を選択します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

詳しくは、[ディスク デフラグ ツール]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[ディスク クリーンアップ]の使用

[ディスク クリーンアップ]を使用すると、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

[ディスク クリーンアップ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「ディスク」と入力して、[ディスク クリーンアップ]を選択します。
2. 画面の説明に沿って操作します。

[HP 3D DriveGuard]の使用（一部の製品のみ）

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、データ要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合。

- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合。

このような事態が起こると、[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

 **注記 :** 内蔵ハードドライブのみが[HP 3D DriveGuard]によって保護されます。別売のドッキングデバイスに取り付けられているハードドライブやUSBポートに接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

 **注記 :** SSD (Solid State Drive) には駆動部品がないため、SSD に[HP 3D DriveGuard]は必要ありません。

[HP 3D DriveGuard]の状態の確認

コンピューターのハードドライブランプの色が変化することによって、メインハードドライブベイまたはセカンダリハードドライブベイ(一部の製品のみ)のディスクドライブのどちらか、または両方が停止していることを示します。

プログラムおよびドライバーの更新

プログラムおよびドライバーを定期的に更新することをお勧めします。更新によって問題が解決し、新しい機能やオプションを使用できるようになります。たとえば、古いグラフィックスコンポーネントは最新のゲームソフトウェアで正しく動作しない場合があります。最新のドライバーがないと、お手持ちの装置を最大限に活用できません。

HP プログラムおよびドライバーの最新バージョンをダウンロードするには、<http://www.hp.com/support> を参照してください。また、このサイトでは、更新が使用可能になったときに自動的に通知を受け取るように登録することもできます。

プログラムおよびドライバーを更新するには、以下の操作を行います。

1. 以下の操作のどちらかを行います。
 - タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。
 - タスクバーにある疑問符のアイコン(一部の製品のみ)を選択します。
2. [マイノートブック]で、[更新]を選択します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

コンピューターの清掃

お使いのデバイスが最適な状態で動作し続けるようにするために、コンピューターを定期的に清掃することで汚れやごみを取り除いてください。コンピューターの外面を安全に清掃するには、以下の情報を参照してください。

[HP Easy Clean]の有効化(一部の製品のみ)

[HP Easy Clean]を使用すると、コンピューターの表面を除菌シートで清掃するときに、誤って入力されてしまうことを防げます。このソフトウェアは、キーボード、タッチスクリーン、タッチパッドなどのデバイスを、コンピューターの表面を清掃している間、あらかじめ設定した時間だけ無効にします。

1. [HP Easy Clean]は、以下のどれかの方法で起動します。
 - [スタート]ボタンを選択し、[HP Easy Clean]を選択します。
 - タスクバーの[HP Easy Clean]アイコンを選択します。
 - [スタート]ボタン→[HP Easy Clean]タイルの順に選択します。
2. デバイスが短期間無効になるので、[63ページの「コンピューターからの汚れやごみの除去」](#)を参照し、お使いのコンピューターの頻繁に触れる面を清掃するための推奨される手順を確認してください。汚れやごみを取り除いた後、消毒液で表面を清掃することもできます。有害なバクテリアやウィルスが蔓延しないようにするためのガイドラインについて詳しくは、[64ページの「消毒液を使用したコンピューターの清掃」](#)を参照してください。

コンピューターからの汚れやごみの除去

以下に、お使いのコンピューターの汚れやごみを取り除くための推奨される手順を示します。

木製部材を使用しているコンピューターの場合は、[64ページの「木製部材のお手入れ（一部の製品のみ）」](#)を参照してください。

1. 表面の清掃や消毒を行うときは、使い捨てのゴム手袋（または、ゴムアレルギーがある場合は二トリル手袋）を着用してください。
2. お使いのデバイスの電源をオフにし、他の接続されている外付け機器とともにコンセントを抜きます。ワイヤレス キーボードなどの機器から、取り付けられたバッテリを外します。
- △ **注意：**感電や部品の損傷を防ぐため、製品の電源が入っているときや接続されているときには絶対に清掃しないでください。
3. マイクロファイバーの布を水で湿らせます。布はあまり濡らさず、軽く湿らせた状態で使用してください。
- **重要：**表面を傷付けないようにするために、布、タオル、ペーパー タオルの使用を避けてください。
4. 湿らせた布で、製品の外面をそっと拭きます。
- **重要：**液体が製品内に入らないようご注意ください。どの開口部からも湿気が入り込まないようにしてください。お使いの HP 製品の内部に液体が入り込んだ場合、製品の損傷の原因となる可能性があります。製品に洗浄液を直接吹き付けないでください。エアゾールスプレー、溶剤、研磨剤、または表面を傷付ける過酸化水素または漂白剤を含む洗浄液を使用しないでください。
5. ディスプレイから清掃を始めます（該当する場合）。1方向に慎重に拭き、ディスプレイの上部から下部に移動します。最後に電源コード、キーボード ケーブル、USB ケーブルなどのケーブル類を拭いて終了します。
6. 掃除した後で、デバイスの電源をオンにする前に、表面を完全に自然乾燥させます。
7. 清掃後は、その都度手袋を破棄してください。手袋を取り外したら、すぐに手を洗ってください。

お使いのコンピューターの頻繁に触れる面を清掃して有害なバクテリアやウィルスが蔓延しないようにするための推奨される手順については、[64ページの「消毒液を使用したコンピューターの清掃」](#)を参照してください。

消毒液を使用したコンピューターの清掃

世界保健機関(WHO)では、ウィルス性呼吸器疾患および有害なバクテリアの蔓延を防止するための最良の方法として、表面の清掃の後に消毒を行うことを推奨しています。

[63 ページの「コンピューターからの汚れやごみの除去」](#)、[64 ページの「木製部材のお手入れ（一部の製品のみ）」](#)、またはその両方の手順を使用してコンピューターの外面を清掃した後に、消毒液で外面を清掃することもできます。HP のクリーニング ガイドラインで取り上げられている消毒薬は、イソプロピルアルコール 70%、水 30% のアルコール溶液です。この溶液は、消毒用アルコールとも呼ばれ、ほとんどの店舗で販売されています。イソプロピルアルコールは保管および使用上の注意を守ってお使いください。

お使いのコンピューターの頻繁に触れる面を消毒するときには、以下の操作を行います。

1. 表面の清掃や消毒を行うときは、使い捨てのゴム手袋（または、ゴムアレルギーがある場合は二トリル手袋）を着用してください。
2. お使いのデバイスの電源をオフにし、他の接続されている外付け機器とともにコンセントを抜きます。ワイヤレス キーボードなどの機器から、取り付けられたバッテリを外します。

△ 注意：感電や部品の損傷を防ぐため、製品の電源が入っているときや接続されているときには絶対に清掃しないでください。

3. 70%のイソプロピルアルコールと30%の水の混合液で、マイクロファイバー布を湿らせます。布はあまり濡らさず、軽く湿らせた状態で使用してください。

△ 注意：漂白剤、過酸化物（過酸化水素を含む）、アセトン、アンモニア、エチルアルコール、塩化メチレン、またはガソリン、シンナー、ベンゼン、トルエンなどの石油系成分を使用した化学製品またはこれらの成分を含む溶液は、スプレータイプのクリーナーを含めて、一切使用しないでください。

□ 重要：表面を傷付けないようにするために、布、タオル、ペーパータオルの使用を避けてください。

4. 湿らせた布で、製品の外面をそっと拭きます。

□ 重要：液体が製品内に入らないようご注意ください。どの開口部からも湿気が入り込まないようにしてください。お使いの HP 製品の内部に液体が入り込んだ場合、製品の損傷の原因となる可能性があります。製品に洗浄液を直接吹き付けないでください。エアゾール スプレー、溶剤、研磨剤、または表面を傷付ける過酸化水素または漂白剤を含む洗浄液を使用しないでください。

5. ディスプレイから清掃を始めます（該当する場合）。1 方向に慎重に拭き、ディスプレイの上部から下部に移動します。最後に電源コード、キーボード ケーブル、USB ケーブルなどのケーブル類を拭いて終了します。
6. 掃除した後で、デバイスの電源をオンにする前に、表面を完全に自然乾燥させます。
7. 清掃後は、その都度手袋を破棄してください。手袋を取り外したら、すぐに手を洗ってください。

木製部材のお手入れ（一部の製品のみ）

一部の製品には、高品質の木製部材が使われています。すべての天然木材製品と同様に、製品のライフサイクルを通して最適な状態を保つためには、適切なお手入れが必要です。天然木材の性質上、製品ごとに木目のパターンが異なったり、わずかな色むらがあつたりする場合がありますが、これは製品不良ではありません。

- 木製部材は、乾いた静電気防止マイクロファイバークロスまたはセーム革で清掃してください。
- アンモニア、塩化メチレン、アセトン、テレビン、またはその他の石油系溶剤などの物質を含む清掃用製品は避けてください。
- 木質部材を日光や湿気に長期間さらさないでください。
- 木質部材が濡れた場合には、糸くずの出ない吸水性のある柔らかい布を軽く当てて乾かしてください。
- 木質部材への色移りや変色の原因となる可能性があるものを接触させないでください。
- 木質部材に傷を付ける可能性がある鋭利なものやざらざらした面に接触させないでください。

お使いのコンピューターの頻繁に触れる面を清掃するための推奨される手順については、[63 ページの「コンピューターからの汚れやごみの除去」](#)を参照してください。汚れやごみを取り除いた後、消毒液で表面を清掃することもできます。有害なバクテリアやウィルスが蔓延しないようにするための衛生ガイドラインについて詳しくは、[64 ページの「消毒液を使用したコンピューターの清掃」](#)を参照してください。

コンピューターの持ち運びまたは送付

コンピューターを持ち運んだり発送したりする必要がある場合は、装置を安全に保持するために以下の点に注意してください。

- お使いのコンピューターを持ち運んだり荷物として送ったりする場合は、以下の手順で準備を行います。
 - 外付けドライブ等に情報をバックアップします。
 - すべてのディスクおよびすべての外付けメディアカード類を取り出します。
 - すべての外付けデバイスを、必要に応じてそれぞれの電源を切ってから取り外します。
 - コンピューターをシャットダウンします。
- 情報のバックアップを取ります。バックアップはコンピューターとは別に保管します。
- 飛行機に乗る場合などは、コンピューターを手荷物として持ち運び、他の荷物と一緒に預けないでください。

重要：ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港のベルトコンベアなど機内持ち込み手荷物をチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

- 機内でコンピューターを使用する場合は、機内のアナウンスを聞いて、コンピューターを使用可能な時間を確認してください。機内でのコンピューターの使用を許可するかどうかは航空会社の判断に委ねられます。
- コンピューターまたはドライブを荷物として送る場合は、緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ取り扱い注意」と明記してください。
- 特定の環境において、無線デバイスの使用が制限されることがあります。たとえば、航空機内、病院内、爆発物付近、および危険区域内です。コンピューターの無線デバイスの使用に適用される規定が不明な場合は、コンピューターの電源を入れる前に、使用可能かどうかを確認して許可を得てください。

- コンピューターを持って国外に移動する場合は、以下のことを行ってください。
 - 行き先の国または地域のコンピューターに関する通関手続きを確認してください。
 - 滞在する国または地域に適応した電源コードを、滞在する国または地域の HP 製品販売店で購入してください。電圧、周波数、およびプラグの構成は地域によって異なります。

⚠ **警告！** 感電、火災、および装置の損傷などを防ぐため、コンピューターを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバーターは使用しないでください。

10 バックアップおよび復元

Windows のツールや HP 製のソフトウェアを使用して、情報のバックアップ、復元ポイントの作成、コンピューターの再設定、リカバリメディアの作成、またはコンピューターの工場出荷時状態への復元を行うことができます。以下の標準的な手順を実行すると、より迅速にコンピューターを通常の動作状態に戻すことができます。

- **重要 :** タブレットで復元操作を実行する場合、復元プロセスを開始するには、タブレットのバッテリーが最低 70% 充電されている必要があります。
- **重要 :** 着脱可能なキーボードが付属しているタブレットの場合は、復元プロセスを開始する前にタブレットをキーボード ドックに接続してください。

情報のバックアップおよびリカバリメディアの作成

リカバリメディアおよびバックアップを作成するためのこれらの方法は、一部の製品でのみ使用可能です。お使いのコンピューターのモデルに最適な方法を選択してください。

Windows ツールを使用したバックアップの作成

初期セットアップ後すぐに情報をバックアップすることをおすすめします。このタスクは、外付け USB フラッシュ ドライブを使用したローカルでの Windows バックアップまたはオンラインツールで実行できます。

- **注記 :** コンピューターのストレージが 32 GB 以下の場合、Microsoft の[システムの復元]は、初期設定で無効に設定されている場合があります。

[HP Cloud Recovery Download Tool]を使用したリカバリメディアの作成(一部の製品のみ)

[HP Cloud Recovery Download Tool]を使用して、起動可能な USB フラッシュ ドライブ上に[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを作成できます。

詳しくは、以下の情報を参照してください。

- <http://www.hp.com> にアクセスし、[HP Cloud Recovery]を検索して、お使いのコンピューターの種類と一致する結果を選択します。

- **注記 :** リカバリメディアを自分で作成できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせのうえ、リカバリディスク入手してください。<http://www.hp.com/support> にアクセスして、該当する国や地域を選択し、画面の説明に沿って操作します。

- **重要 :** HP リカバリディスク入手して使用する前に、[68 ページの「回復および復元方法」](#)に記載の操作を実行して、コンピューターを復元することをおすすめします。HP リカバリディスクよりも、最近のバックアップを使用したほうが、コンピューターを通常の動作状態により早く戻すことができます。システムの復元後、最初の購入後にリリースされたすべてのオペレーティングシステム ソフトウェアを再インストールすると、時間がかかることがあります。

システムの回復および復元

デスクトップがロードされない場合に、Windows の内部と外部の両方でシステムを復元するために利用できる複数のツールが用意されています。

[68 ページの「回復および復元方法」](#)を使用してシステムの復元を試行することをおすすめします。

システムの復元の作成

Windows では、システムの復元を利用できます。システムの復元ソフトウェアは、特定の時点でのコンピューターのシステムファイルおよび設定の復元ポイント、またはスナップショットを自動的にまたは手動で作成できます。

システムの復元を使用すると、復元ポイントを作成した時点の状態にコンピューターを戻します。個人用ファイルとドキュメントが、影響を受けないようにする必要があります。

回復および復元方法

1番目の方法の実行後、問題がまだ発生するかどうかをテストしてから、次の方法に進んでください。今は実行する必要がない可能性があります。

1. Microsoft の[システムの復元]を実行します。
2. [この PC を初期状態に戻す]を実行します。

 **注記 :** [すべて削除する]およびその次の[ドライブを完全にクリーンアップする]が完了するには数時間かかることがあります。お使いのコンピューターに情報は一切残されません。コンピューターをリサイクルする前に、コンピューターをリセットしておくと最も安全です。

3. [HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用してリカバリします。詳しくは、[68 ページの「\[HP Recovery\] \(HP リカバリ \) メディアを使用した復元」](#)を参照してください。

最初の 2 つの方法について詳しくは、[ヘルプの表示]アプリケーションを参照してください。

- [スタート]ボタンを選択して、[すべてのアプリ]→[ヘルプの表示]アプリの順に選択し、実行したいタスクを入力します。

 **注記 :** [ヘルプの表示]アプリにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。

[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用した復元

[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用すると、工場出荷時にインストールされていたオペレーティングシステムおよびドライバーを復元できます。一部の製品では、[HP Cloud Recovery Download Tool]を使用して、起動可能な USB フラッシュ ドライブ上にリカバリ メディアを作成できます。

詳しくは、[67 ページの「\[HP Cloud Recovery Download Tool\]を使用したリカバリ メディアの作成 \(一部の製品のみ\)」](#)を参照してください。

 **注記 :** リカバリ メディアを自分で作成できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせのうえ、リカバリ ディスクを入手してください。<http://www.hp.com/support> にアクセスして、該当する国や地域を選択し、画面の説明に沿って操作します。

システムを復元するには、以下の操作を行います。

- [HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを挿入し、コンピューターを再起動します。

 **注記 :** HP リカバリ ディスクを入手して使用する前に、[68 ページの「回復および復元方法」](#)に記載の操作を実行して、コンピューターを復元することをおすすめします。HP リカバリ ディスクよりも、最近のバックアップを使用したほうが、コンピューターを通常の動作状態により早く戻すことができます。システムの復元後、最初の購入後にリリースされたすべてのオペレーティングシステム ソフトウェアを再インストールすると、時間がかかることがあります。

コンピューターのブート順序の変更

お使いのコンピューターが[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用して再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更できます。これは起動情報を参照する BIOS にあり、デバイスの順番がリストになっています。[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアの場所に応じて、オプティカル ドライブまたは USB フラッシュ ドライブを選択します。

 **重要 :** 着脱可能なキーボードが付属しているタブレットの場合は、以下の手順を開始する前にタブレットをキーボード ドックに接続してください。

ブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. [HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを挿入します。
2. システムの[スタートアップ]メニューにアクセスします。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレットの場合は、コンピューターまたはタブレットの電源を入れるか再起動してすぐに `esc` キーを押し、次に `f9` キーを押してブート オプションを表示します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレットの場合は、タブレットの電源を入れるか再起動してすぐに以下のボタンのどちらかを長押しします。
 - 音量上げ
 - 音量下げ
3. 次に、**[f9]**を選択します。
4. 起動したいオプティカル ドライブまたは USB フラッシュ ドライブを選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Sure Recover]の使用 (一部の製品のみ)

一部のコンピューター モデルでは、[HP Sure Recover]が構成されています。[HP Sure Recover]は、ハードウェアおよびソフトウェアに組み込まれた、コンピューターのオペレーティングシステム (OS) の復旧ソリューションです。[HP Sure Recover]を使用すると、インストールされているリカバリ ソフトウェアなしで HP 製品の OS イメージを完全に復元できます。

[HP Sure Recover]を使用すると、管理者またはユーザーはシステムを復元して、以下をインストールできます。

- オペレーティングシステムの最新のバージョン
- プラットフォーム固有のデバイス ドライバー
- ソフトウェア アプリケーション (カスタムイメージの場合)

[HP Sure Recover]の最新のドキュメントについては、<http://www.hp.com/support> にアクセスして画面の説明に沿って操作し、製品を検索してドキュメントを見つけます。

11 [HP Computer Setup] (BIOS)、TPM、および[HP Sure Start]

HP のコンピューターには、セットアップと保護に役立つ複数のツールが用意されています。

[HP Computer Setup]の使用

BIOS (Basic Input/Output System) とも呼ばれる[Computer Setup]は、システム上のすべての入出力デバイス（ハードドライブ、ディスプレイ、キーボード、マウス、プリンターなど）間で行われる通信を制御します。[Computer Setup]を使用すると、取り付けるデバイスの種類、コンピューターの起動順序、およびシステムメモリと拡張メモリの容量を設定できます。

 **注記 :** [Computer Setup]で設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

[Computer Setup]を起動するには、コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して[Computer Setup]を起動します。

[Computer Setup]での移動および選択

[Computer Setup]では、いくつかの方法で移動および選択ができます。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、ポインティングデバイスを使用して項目を選択するか、キーボードの **tab** キーや矢印キーを使用して項目を移動してから **enter** キーを押します。
- 画面を上下にスクロールするには、ポインティングデバイスを使用して画面の右上隅にある上向き矢印または下向き矢印を選択するか、キーボードの上向き矢印キーまたは下向き矢印キーを使用します。
- 開いているダイアログボックスを閉じて[HP Computer Setup]のメイン画面に戻るには、**esc** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Computer Setup]を終了するには、以下のどちらかの方法を選択します。

- 変更を保存しないで[HP Computer Setup]メニューを終了するには、**[Main]** (メイン) →**[Ignore Changes and Exit]** (変更を無視して終了) →**[Yes]** (はい) の順に選択します。
-  **注記 :** 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、**enter** キーを押す必要があります。
- 変更を保存して[HP Computer Setup]メニューを終了するには、**[Main]** (メイン) →**[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) →**[Yes]** の順に選択します。
-  **注記 :** 矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、**enter** キーを押す必要があります。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[HP Computer Setup]の工場出荷時設定の復元

[HP Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の操作を行います。

 **注記：**工場出荷時設定を復元しても、ハードドライブのモードには影響ありません。

1. [HP Computer Setup]を開始します。[71ページの「\[HP Computer Setup\]の使用」](#)を参照してください。
2. [Main] (メイン) →[Apply Factory Defaults and Exit] (工場出荷時設定を適用して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記：**矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、`enter` キーを押す必要があります。

 **注記：**一部の製品では、選択項目に[Apply Factory Defaults and Exit] (工場出荷時設定を適用して終了) ではなく[Restore Defaults] (初期設定に復元) が表示される場合があります。

変更、保存した内容は、コンピューターを再起動したときに有効になります。

 **注記：**上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティの設定は変更されません。

BIOS の更新

HP の Web サイトから、更新されたバージョンの BIOS (BIOS 更新プログラム) を入手できる場合があります。HP の Web サイトでは、多くの BIOS 更新プログラムが「SoftPaq」という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロードパッケージには、そのパッケージのインストールやトラブルの解決方法に関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

BIOS のバージョンの確認

[HP Computer Setup] (BIOS) を更新する必要があるかどうかを判断するには、まずコンピューターの BIOS バージョンを確認します。

すでに Windows を起動している場合は、`fn + esc` キー (一部の製品のみ) を押して、BIOS のバージョン情報 (「ROM 日付」または「システム BIOS」とも呼ばれます) にアクセスできます。または、[HP Computer Setup]を使用できます。

1. [Computer Setup]を開始します。[71ページの「\[HP Computer Setup\]の使用」](#)を参照してください。
2. [Main] (メイン) →[System Information] (システム情報) の順に選択します。
3. 変更を保存しないで[HP Computer Setup]メニューを終了するには、[Main] (メイン) →[Ignore Changes and Exit] (変更を無視して終了) →[Yes] (はい) の順に選択します。

 **注記：**矢印キーを使用して選択項目を強調表示している場合は、`enter` キーを押す必要があります。

より新しいバージョンの BIOS があるかどうかを確認するには、[73ページの「BIOS の更新準備」](#)を参照してください。

BIOS の更新準備

BIOS 更新プログラムをダウンロードしてインストールする前に、すべての前提条件に沿って操作してください。

 **重要：**コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS 更新プログラムのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、以下のような信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。

- コンピューターに付属している HP 外部電源アダプター (一部の製品のみ)
- HP が提供する交換用外部電源アダプター
- 製品ラベルに指定されている定格の外部電源アダプター

以下の場合は、コンピューターが動作しているときに、BIOS 更新プログラムをダウンロードまたはインストールしないでください。

- バッテリ電源で動作している
- 別売のドッキングデバイスに接続している
- 別売のドッキング電源装置に接続している

ダウンロードおよびインストールするときは、以下の点に注意してください。

- 電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜かないでください。外部からの電源供給を遮断しないでください。
- コンピューターをシャットダウンしたり、スリープを開始したりしないでください。
- ケーブルやコード類の抜き差しおよびデバイスの着脱は行わないでください。

BIOS 更新プログラムのダウンロード

前提条件を確認したら、BIOS 更新プログラムを確認してダウンロードできます。

1. 以下の操作のどちらかを行います。
 - タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。
 - タスクバーにある疑問符のアイコン (一部の製品のみ) を選択します。
2. [更新]→[更新プログラムとメッセージの確認]の順に選択します。
3. 画面の説明に沿って操作します。
4. ダウンロードエリアで、以下の操作を行います。
 - a. 最新の BIOS 更新プログラムを確認し、お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンと比較します。日付や名前など、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードした更新プログラムを探すときにこの情報が必要になる場合があります。

- b. 提供されているパッケージによって操作手順が異なる場合がありますので、画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。

BIOS 更新プログラムをダウンロードする場所へのパスのメモを取っておきます。このパスは、更新プログラムをインストールするときに必要です。

 **注記 :** コンピューターがネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア更新プログラム（特にシステム BIOS 更新プログラム）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

BIOS 更新プログラムのインストール

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

- タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「ファイル」と入力して[ファイルエクスプローラー]を選択します。
- ハードドライブを選択します。通常は、[ローカルディスク (C:)]を指定します。
- ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、更新ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
- 更新ファイル (*filename.exe* など) をダブルクリックします。

BIOS のインストールが開始されます。

- 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

 **注記 :** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

[f9]の画面を使用したブート順序の変更

現在の起動でブートデバイスを動的に選択するには、以下の操作を行います。

- ブートデバイスオプションメニューにアクセスします。
 - コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f9** キーを押してブートデバイスオプションメニューに入ります。
- ブートデバイスを選択して **enter** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

TPM BIOS の設定 (一部の製品のみ)

TPM (Trusted Platform Module) は、お使いのコンピューターのセキュリティを強化します。TPM 設定は[HP Computer Setup] (BIOS) で変更できます。

 **重要 :** TPM 機能をこのシステムで有効にする前に、TPM の使用目的が、お住まいの地域の関連法、規制、および政令を遵守していることを確認する必要があります。また、該当する場合は、許可またはライセンスをお客様が取得する必要があります。お客様が上述の要件に違反して TPM を操作または

は使用したことにより法令等の遵守に関する問題が発生した場合、すべての責任はお客様が単独で完全に負うものとします。HP は、関連する責任を一切負いません。

 **注記 :** TPM の設定を[Hidden] (非表示) に変更すると、TPM はオペレーティングシステムでは表示されません。

[HP Computer Setup]で TPM の設定値にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [HP Computer Setup]を開始します。[71 ページの「\[HP Computer Setup\]の使用」](#) を参照してください。
2. [Security] (セキュリティ) →[TPM Embedded Security] (TPM 内蔵セキュリティ) の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Sure Start]の使用 (一部の製品のみ)

一部のコンピューター モデルでは、[HP Sure Start]が構成されています。[HP Sure Start]は、攻撃または破損がないか確認するためにコンピューターの BIOS を監視する技術です。BIOS が破損したか攻撃された場合、[HP Sure Start]はユーザーが介入することなく自動的に BIOS を以前の安全な状態に復元します。

[HP Sure Start]はあらかじめ構成され、有効になっているため、ほとんどのユーザーは[HP Sure Start]の初期設定の構成を使用できます。熟練ユーザーは初期設定の構成をカスタマイズできます。

[HP Sure Start]の最新のドキュメントについては、<http://www.hp.com/support> にアクセスして[製品から探す]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

12 [HP PC Hardware Diagnostics]の使用

お使いのコンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認するには、[HP PC Hardware Diagnostics]のユーティリティを使用できます。Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]、UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) 版の[HP PC Hardware Diagnostics]、および一部の製品のみの[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]というファームウェア機能の 3 つのバージョンがあります。

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の使用 (一部の製品のみ)

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]は、診断テストを実行して、コンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認できる Windows ベースのユーティリティです。このツールは、ハードウェア障害を診断するために、Windows オペレーティングシステム内で動作します。

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]がお使いのコンピューターにインストールされていない場合は、ダウンロードしてインストールする必要があります。Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]をダウンロードする場合は、[77 ページの「Windows 版の\[HP PC Hardware Diagnostics\]のダウンロード」](#)を参照してください。

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のハードウェア障害 ID コードの使用

ハードウェアの交換が必要な障害が Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]で検出された場合、一部のコンポーネントテストのために 24 行の障害 ID コードが生成されます。キーボード、マウス、オーディオおよびビデオパレットなどのインタラクティブテストを行う場合は、障害 ID を受け取る前にトラブルシューティングの手順を実行する必要があります。

障害 ID を受け取った後のオプションは複数あります。

- [次へ]を選択して、[イベント自動化サービス (EAS)]ページを開きます。このページでは、ケースをログに記録できます。
- モバイルデバイスで QR コードをスキャンすると、[EAS]ページに移動し、ケースをログに記録できます。
- 24 行の障害 ID の横にあるボックスを選択して障害コードをコピーし、サポートに送信します。

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]へのアクセス

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]をインストールした後は、[HP Support Assistant]、または[スタート]メニューからアクセスできます。

[HP Support Assistant]からの Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]へのアクセス

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]をインストールした後、[HP Support Assistant]からアクセスするには以下の手順で操作します。

1. 以下のどちらかの操作を行います。
 - タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。
 - タスクバーにある疑問符のアイコンを選択します。
2. [Fixes & Diagnostics] (修正および診断)を選択します。
3. [Run hardware diagnostics] (ハードウェア診断の実行) → [Launch] (起動)の順に選択します。
4. ツールが開いたら、実行する診断テストの種類を選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

 **注記** : 診断テストを停止するには、[Cancel] (キャンセル) を選択します。

[スタート]メニューからの Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]へのアクセス (一部の製品のみ)

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]をインストールした後、[スタート]メニューからアクセスするには以下の手順で操作します。

1. [スタート]ボタンを選択して、[すべてのアプリ]を選択します。
2. [HP PC Hardware Diagnostics Windows]を選択します。
3. ツールが開いたら、実行する診断テストの種類を選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

 **注記** : 診断テストを停止するには、[Cancel] (キャンセル) を選択します。

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロードの説明は、英語でのみ提供されています。.exe ファイルのみが提供されているため、このツールのダウンロードには Windows コンピューターを使用する必要があります。

HP からの最新バージョンの Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード

HP から Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]をダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. <http://www.hp.com/go/techcenter/pcdiags> にアクセスします。[HP PC Hardware Diagnostics]のホーム ページが表示されます。
2. [お使いの Windows に適したバージョンのダウンロード用のボタン]を選択し、お使いのコンピューター上の場所または USB フラッシュ ドライブにダウンロードするお使いの Windows に適した特定のバージョンを選択します。

選択した場所にツールがダウンロードされます。

[Microsoft Store]からの Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード

[Microsoft Store]から Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]をダウンロードできます。

1. デスクトップの[Microsoft Store]アプリを選択するか、タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスに「Microsoft Store」と入力します。
2. [Microsoft Store]の検索ボックスに、「HP PC Hardware Diagnostics Windows」と入力します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

選択した場所にツールがダウンロードされます。

製品名または製品番号を使用した Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード (一部の製品のみ)

製品名または製品番号で Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]をダウンロードできます。

 **注記 :**一部の製品では、製品名または製品番号を使用してこのソフトウェアを USB フラッシュ ドライブにダウンロードすることが必要な場合があります。

1. <http://www.hp.com/support> にアクセスします。
2. [ソフトウェアとドライバー]または[ソフトウェア/ドライバー]を選択して、製品の種類を選択します。表示された検索ボックスに製品名または製品番号を入力します。
3. [診断]セクションで、[ダウンロード]を選択し、画面の説明に沿って、お使いのコンピューターまたは USB フラッシュ ドライブにダウンロードする Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のバージョンを選択します。

選択した場所にツールがダウンロードされます。

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のインストール

Windows 版の[HP PC Hardware Diagnostics]をインストールするには、お使いのコンピューターまたは USB フラッシュ ドライブ上の.exe ファイルをダウンロードしたフォルダーに移動し、.exe ファイルをダブルクリックして、画面の説明に沿って操作します。

UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の使用

[HP PC Hardware Diagnostics Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)]は、診断テストを実行して、コンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認できます。このツールはオペレーティングシステムの外で実行されるため、オペレーティングシステムまたはその他のソフトウェアコンポーネントが原因で発生する可能性のある問題からハードウェア障害を分離できます。

 **注記 :**一部の製品の場合は、.exe ファイルのみが提供されているため、Windows コンピューターおよび USB フラッシュ ドライブを使用して、[HP UEFI Support Environment] (HP UEFI サポート環境) をダウンロードおよび構築する必要があります。詳しくは、[80 ページの「UEFI 版の\[HP PC Hardware Diagnostics\]の USB フラッシュ ドライブへのダウンロード」](#) を参照してください。

お使いのコンピューターで Windows が起動しない場合は、UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]を使用してハードウェアの問題を診断できます。

UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のハードウェア障害 ID コードの使用

ハードウェアの交換が必要な障害が UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]で検出された場合、24 行の障害 ID コードが生成されます。

問題解決のサポートを受けるには、以下のどちらかの操作を行います。

- [HPへのお問い合わせ]を選択して、HPのプライバシーに関する免責事項に同意し、モバイルデバイスを使用してその次の画面に表示される障害 ID コードをスキャンします。HP カスタマーサポートのサービス関連のページが表示され、障害 ID および製品番号が自動的に入力されます。画面の説明に沿って操作します。
- HP のサポート窓口に問い合わせて、障害 ID コードを知らせます。

UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の起動

UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるかコンピューターを再起動してすぐに `esc` キーを押します。

2. `f2` キーを押します。

BIOS は、以下の順序で 3 か所から診断ツールを検索します。

a. 接続されている USB フラッシュ ドライブ

 **注記 :** UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]ツールを USB フラッシュ ドライブにダウンロードするには、[80 ページの「最新バージョンの UEFI 版の\[HP PC Hardware Diagnostics\]のダウンロード」](#) を参照してください。

b. ハード ドライブ

c. BIOS

3. 診断ツールが開いたら、実行する診断テストの種類を選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

[HP Hotkey Support]ソフトウェアを使用した UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の起動（一部の製品のみ）

ここでは、[HP Hotkey Support]ソフトウェアを使用して UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]を起動する方法について説明します。

 **注記 :** [HP System Information] アプリケーションから UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]にアクセスするには、高速ブートを無効にする必要があります。

高速ブートを無効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら `f10` キーを押してセットアップユーティリティを起動します。
2. [Advanced] (詳細設定) → [Boot Options] (ブート オプション) の順に選択します。
3. [Fast Boot] (高速ブート) をオフにします。
4. [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) → [Yes] (はい) の順に選択します。

[HP Hotkey Support]ソフトウェアを使用して UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]を起動するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]メニューから[HP System Information]アプリケーションを開くか、**fn + esc** を押します。
2. [HP System Information]画面で、[Run System Diagnostics] (システム診断の実行) →[Yes] (はい) の順に選択してアプリケーションを実行し、[Restart] (再起動) を選択します。

 **重要 :** データの損失を防ぐため、コンピューターを再起動する前に、開いているすべてのアプリケーションで作業中のデータを保存してください。

 **注記 :** 再起動が完了すると、UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]アプリケーションが開きます。トラブルシューティングのテストに進みます。

UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]の USB フラッシュ ドライブへのダウンロード

以下のような場合には、UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]を USB フラッシュ ドライブにダウンロードすると便利です。

- UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]がプリインストールイメージに含まれていない。
- UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]が HP TOOLS パーティションに含まれていない。
- ハード ドライブが故障している。

 **注記 :** UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロードの説明は、英語でのみ提供されています。また、.exe ファイルのみが提供されているため、Windows コンピューターを使用して、[HP UEFI Support Environment] (HP UEFI サポート環境) をダウンロードおよび構築する必要があります。

最新バージョンの UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード

最新バージョンの UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]を USB フラッシュ ドライブにダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. <http://www.hp.com/go/techcenter/pcdiags> にアクセスします。[HP PC Hardware Diagnostics] の ホーム ページが表示されます。
2. [HP DIAGNOSTICS UEFI をダウンロードする] → [実行] の順に選択します。

製品名または製品番号を使用した UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のダウンロード(一部の製品のみ)

製品名または製品番号で UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]を USB フラッシュ ドライブにダウンロードできます(一部の製品のみ)。

 **注記 :** 一部の製品では、製品名または製品番号を使用してこのソフトウェアを USB フラッシュ ドライブにダウンロードすることが必要な場合があります。

1. <http://www.hp.com/support> にアクセスします。
2. 製品名または製品番号を入力し、お使いのコンピューターを選択して、オペレーティングシステムを選択します。
3. [診断]セクションで、画面の説明に沿って、お使いのコンピューターに合った UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]のバージョンを選択してダウンロードします。

[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]設定の使用(一部の製品のみ)

[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]は、UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]をコンピューターにダウンロードするファームウェア(BIOS)の機能です。ダウンロード後にコンピューターの診断を実行でき、事前に設定されたサーバーに結果をアップロードすることも可能です。

[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]について詳しく確認するには、

<http://www.hp.com/go/techcenter/pcdiags> にアクセスして、[もっと詳しく知る]を選択します。

[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]のダウンロード

[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]は、サーバーにダウンロード可能な SoftPaq としても提供されています。

最新バージョンの[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]のダウンロード

最新バージョンの[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]を USB フラッシュ ドライブにダウンロードできます。

1. <http://www.hp.com/go/techcenter/pcdiags> にアクセスします。[HP PC Hardware Diagnostics]のホームページが表示されます。
2. [Download Remote Diagnostics] (Remote Diagnostics をダウンロードする) → [Run] (実行) の順に選択します。

製品名または製品番号による[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]のダウンロード

製品名または製品番号で[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]をダウンロードできます。

 **注記:** 一部の製品では、製品名または製品番号を使用してこのソフトウェアをダウンロードすることが必要な場合があります。

1. <http://www.hp.com/support> にアクセスします。
2. [ソフトウェアドライバー]を選択して、製品の種類を選択します。表示された検索ボックスに製品名または製品番号を入力して、オペレーティングシステムを選択します。
3. [診断]セクションで、画面の説明に沿って、製品に合った[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]のバージョンを選択してダウンロードします。

[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]設定のカスタマイズ

セットアップユーティリティ(BIOS)の[Remote HP PC Hardware Diagnostics]設定を使用して、いくつかのカスタマイズを実行できます。

- 自動診断の実行スケジュールを設定する。[Execute Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI] ([Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]の実行) を選択して、対話モードで診断をすぐに開始することもできます。
- 診断ツールをダウンロードする場所を設定する。この機能により、HP の Web サイトから、または事前に設定されたサーバーを使用して、ツールにアクセスできます。リモート診断を実行するために、従来のローカルストレージ(ハードディスク ドライブや USB フラッシュ ドライブなど) がコンピューターに装備されている必要はありません。

- テスト結果を保存する場所を設定する。アップロードに使用するユーザー名およびパスワードを設定することもできます。
- 以前に実行された診断の状態に関する情報を表示する。

[Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI]設定をカスタマイズするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押してセットアップユーティリティを起動します。
2. **[Advanced] (詳細設定)** → **[Settings] (設定)** の順に選択します。
3. カスタマイズの内容に応じて選択します。
4. **[Main] (メイン)** → **[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了)** の順に選択して設定内容を保存します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを再起動したときに有効になります。

13 仕様

コンピューターを持ち運んだり、保管したりするときに、入力電源の定格および動作仕様の情報が役に立ちます。

入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100～240 V(50/60 Hz) の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている外部 AC 電源アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

 **注記 :** 充電は、電源オフ モード (モダンスタンバイ)、および S4 と S5 の状態でサポートされています。しかし、DC 充電は S0 (電源オン) モード (85W 未満) ではサポートされていません。85W～120W の範囲でも充電できますが、フルパフォーマンスでの充電はできません。

お使いのコンピューターは、以下の 1 つまたは複数の仕様の DC 電力で動作します。コンピューターの電圧および電流は、規定ラベルに記載されています。

表 13-1 DC 電源の仕様

入力電源	定格
動作電圧と電流	5 VDC (3 A、90 W、USB-C の場合) /9 VDC (3 A、90 W、USB-C の場合) /10 VDC (5 A、90 W、USB-C の場合) /12 VDC (5 A、90 W、USB-C の場合) /15 VDC (5 A、90 W、USB-C の場合) /20 VDC (4.5 A、90 W、USB-C の場合)
	5 VDC (3 A、100 W、USB-C および 10 W、USB-A の場合) /9 VDC (3 A、100 W、USB-C および 10 W、USB-A の場合) /12 VDC (5 A、100 W、USB-C および 10 W、USB-A の場合) /15 VDC (5 A、100 W、USB-C および 10 W、USB-A の場合) /20 VDC (5 A、100 W、USB-C および 10 W、USB-A の場合) /5 VDC USB-A ポート (2 A、100 W、USB-C および 10 W、USB-A の場合)
	5 VDC (3 A、140 W、USB-C の場合) /9 VDC (3 A、140 W、USB-C の場合) /12 VDC (5 A、140 W、USB-C の場合) /15 VDC (5 A、140 W、USB-C の場合) /20 VDC (5 A、140 W、USB-C の場合) /28 VDC (5 A、140 W、USB-C の場合)

 **注記 :** この製品は、最低充電量 240 Vrms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

動作環境

コンピューターを持ち運んだり、コンピューターを保管したりするときに役に立つ情報として、動作仕様を参照してください。

表13-2 動作環境の仕様

項目	国際単位系	米国
温度		
動作時	5~35°C	41~95°F
非動作時	-20~60°C	-4~140°F
相対湿度 (結露しないこと)		
動作時	10~90%	10~90%
非動作時	5~95%	5~95%
最大標高 (非与圧)		
動作時	-15~3,048 m	-50~10,000 フィート
非動作時	-15~12,192 m	-50~40,000 フィート

14 静電気対策

静電気の放電は、じゅうたんの上を歩いてから金属製のドアノブに触れたときなど、2つのものが接触したときに発生します。

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システムボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。

 **重要:** 静電気に弱い部品を取り扱う前に、以下で説明する方法のどれかで身体にたまつた静電気を放電してください。

- 部品などの取り外しまたは取り付けの手順で、コンピューターから電源コードを取り外すように指示されている場合は、まず正しくアース（接地）されていることを確認してください。
- 部品は、コンピューターに取り付ける直前まで静電気防止用のケースに入れておきます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。電子部品に触れる回数をなるべく少なします。
- 磁気を帯びていない道具を使用します。
- 部品を取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電します。
- 取り外した部品は、静電気の影響を受けない容器に入れておきます。

15 ユーザー サポート

HPは、単体でも、または適切な他社製支援技術（AT）デバイスやアプリケーションと組み合わせることでも、誰もがどこからでも使用できる製品、サービス、および情報を設計して製造し、お客様に提供することを目標にしています。

HP とユーザー サポート

HPはダイバーシティ（人材の多様性）、インクルージョン（受容）、およびワークライフバランスを会社を構成する基本と考えており、HPのあらゆる業務にこの考えが反映されています。HPは、世界中で人と技術力を結び付けることを重視した、すべての人が活躍できる環境作りを目指しています。

必要なテクノロジ ツールの確認

テクノロジは、人間の潜在能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

詳しくは、[87ページの「最適な支援技術の確認」](#)を参照してください。

HP の取り組み

HPは、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスを提供できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、会社の目標であるダイバーシティを実現し、あらゆる人が確実にテクノロジを活用できるようにするために役立ちます。

ユーザー サポートにおけるHPの目標は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売することです。

目標達成のために、このHPユーザー サポート ポリシーでは、HPの取り組みの指針となる7つの主要な目標が設定されています。HPのすべてのマネージャーおよび従業員は、自分の役割や責任に従ってこれらの目標とその実現をサポートするよう期待されます。

- 社内においてユーザー サポート問題への認識を高めて、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスの設計、製造、販売、および配送に必要なトレーニングを従業員に提供します。
- 製品やサービスに関するユーザー サポートのガイドラインを作成し、製品開発グループに対しては、競争力、技術、および経済性の観点から実現可能な範囲でガイドラインに従う責任を課します。
- お身体の不自由な方に、ユーザー サポートのガイドラインの作成、および製品やサービスの設計およびテストに参加していただきます。
- ユーザー サポート機能を文書化し、HPの製品やサービスに関する情報を、お身体の不自由な方もご利用いただける形で一般に公開します。
- 最先端の支援技術および支援ソリューションのプロバイダーとの関係を築きます。
- HPの製品やサービスに関連する支援技術を向上させる社内および社外での研究開発をサポートします。

- ユーザー サポートに関する業界の標準やガイドラインを支持し、それに貢献します。

IAAP (International Association of Accessibility Professionals)

IAAP は、人の交流、教育、および認定を通じてユーザー サポートに関する専門職の発展を目指す非営利団体です。ユーザー サポートの専門家のキャリア形成やキャリア アップを支援したり、企業がユーザー サポートを自社の製品やインフラストラクチャに組み込めるようにすることを目標としています。

設立メンバーとして、HP は他の企業と協力してユーザー サポートの分野を発展させるために加わりました。この取り組みは、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただける製品やサービスを設計、製造、販売するという HP のユーザー サポートの目標の達成を後押しします。

IAAP は、世界中の個人、学生、および組織を結び付け、お互いに学び合えるようにすることで、ユーザー サポート業務自体をも強めることにつながります。詳しい情報をお知りになりたい場合は、<http://www.accessibilityassociation.org> にアクセスして、オンラインコミュニティに参加したり、ニュースレターにサインアップしたり、メンバーシップの種類を確認したりしてください。

最適な支援技術の確認

お身体の不自由な方やご年配の方も含め、すべての人がテクノロジを用いてコミュニケーションをとり、自己表現し、世界とつながりを持てるようになるべきだと HP は考えます。HP は、社内だけではなく、お客様やパートナーとともに、ユーザー サポートに関する意識の向上に努めています。

目にやさしい大きいフォント、両手を休ませることができる音声認識、特定の状況で役立つその他の支援技術など、さまざまな支援技術が HP 製品の操作性を向上させるために利用されています。以下のセクションでは、支援技術や製品を選択する方法を説明します。

ご自身のニーズの評価

テクノロジは、お客様の能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術 (AT) によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

お客様は多数の AT 製品から選択できます。AT の評価では、いくつかの製品を評価し、疑問点を解決し、状況に合った最善のソリューションを選択できるようにする必要があります。AT を評価する資格を持つ専門家の専門分野は多岐にわたり、理学療法、作業療法、音声言語病理学、およびその他の専門分野で免許や認定を取得した人が含まれます。ただし、認定や免許がなくても評価情報を提供できます。個人の経験、専門知識、および料金について尋ね、ご自身のニーズに合っているかを判断してください。

HP 製品のユーザー サポート

以下のリンクでは、各種の HP 製品に組み込まれているユーザー サポート機能および支援技術（該当する場合およびお住まいの国/地域でご利用いただける場合）について説明しています。状況に最も適した支援技術の機能や製品を選択するために役立つリソースです。

- HP Aging & Accessibility : <http://www.hp.com> (英語サイト) にアクセスし、検索ボックスに「Accessibility」と入力します。[Office of Aging and Accessibility]を選択します。
- HP 製コンピューター : Windows 製品の場合は、<http://www.hp.com/support> にアクセスして、[ナレッジライブラリーを検索]の検索ボックスに「Windows アクセシビリティ オプション」と入力します。検索結果で該当するオペレーティングシステムを選択します。

- HP のショップ、HP 製品の周辺機器 : <http://store.hp.com> (英語サイト) にアクセスし、[Shop] (ショッピング) → [Monitors] (モニター) または [Accessories] (アクセサリ) の順に選択します。

HP 製品のユーザー サポート機能の他に追加のサポートも必要な場合は、[90 ページの「サポート窓口へのお問い合わせ」](#) を参照してください。

追加の支援を提供できる外部のパートナーやサプライヤーへのリンクは以下のとおりです。

- [Microsoft アクセシビリティ \(Windows および Microsoft Office \)](#)
- [Google ユーザー補助機能 \(Android、Chrome、Google アプリ \)](#)

標準および法令

世界各国では、お身体の不自由な方向けの製品やサービスを利用しやすくするための規則が制定されています。これらの規制は歴史的に、通信関連製品およびサービス、特定の通信や動画再生機能を備えたコンピューターおよびプリンター、またそれらに関連する取扱説明書やカスタマーサポートに適用されています。

標準

FAR (Federal Acquisition Regulation : 連邦調達規則) に言及されている Rehabilitation Act の 508 条は、US Access Board によって、身体、知覚、または認知の障がいがある方が情報通信技術 (ICT) にアクセスできることを明記するために策定されました。

この標準には、対象製品の機能に重点を置いた性能ベースの要件に加えて、各種テクノロジに固有の技術基準が含まれています。固有の基準は、ソフトウェアアプリケーションおよびオペレーティングシステム、Web ベースの情報およびアプリケーション、コンピューター、電気通信関連の製品、動画やマルチメディア、および独立式の閉鎖型製品を対象とします。

Mandate 376 - EN 301549 (欧州連合向け)

The European Union created the EN 301549 standard within Mandate 376 as an online toolkit for public procurement of ICT products. The standard specifies the accessibility requirements applicable to ICT products and services, with a description of the test procedures and evaluation methodology for each requirement.

WCAG (Web Content Accessibility Guidelines)

W3C の WAI (Web Accessibility Initiative) によって公開された WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) は、Web の設計者や開発者が、お身体の不自由な方やご年配の方のニーズに合ったサイトを作成するために役立ちます。

WCAG は、さまざまな Web コンテンツ (テキスト、画像、オーディオ、動画) および Web アプリケーションによってユーザー サポートを向上させるガイドラインです。WCAG は厳密にテストでき、理解や使用が容易で、Web 開発者が新しい発想を取り入れられるように柔軟性を持たせています。WCAG 2.0 は、[ISO/IEC 40500:2012](#) としても承認されました。

WCAG では特に、視覚、聴覚、身体、認知、神経の障がいがある方やサポートを必要とするご年配の Web ユーザーが Web 利用時に直面する障壁に対応しています。WCAG 2.0 にはお身体の不自由な方でも利用しやすいコンテンツの特徴が明記されています。

- **知覚可能** (画像のテキストによる代替、オーディオのキャプション、提供方法への適応性、色のコントラストなど)

- **操作可能** (キーボード操作、色のコントラスト、タイミング調整、発作の防止、ナビゲーション可能)
- **理解可能** (読みやすさ、予測可能性、入力支援など)
- **堅牢性** (支援技術との互換性など)

法令および規制

IT および情報のユーザー サポートは、法的な重要性が高まりつつある分野になってきました。

[HP Policy Landscape](#) (HP のポリシーの展望) に関する Web サイトでは、以下の地域の主要な法令、規制、および標準に関する情報を確認できます。

- United States (米国向け)
- Canada (カナダ向け)
- Europe (欧州向け)
- Australia (オーストラリア向け)

ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク

以下の組織から、障がいや年齢による身体的制限に関する適切な情報を得られる場合があります。

 **注記 :** この一覧に記載されている組織がすべてではありません。これらの組織は、情報提供のみを目的として記載されています。インターネットで確認された情報または連絡先について HP は一切の責任を負わないものとします。このページの一覧は、HP による推奨を示すものではありません。

組織 (英語のみ)

これらの組織は、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供する多くの組織の一部です。

- AAPD (American Association of People with Disabilities)
- ATAP (Association of Assistive Technology Act Programs)
- HLAA (Hearing Loss Association of America)
- ITTATC (Information Technology Technical Assistance and Training Center)
- Lighthouse International
- National Association of the Deaf
- National Federation of the Blind
- RESNA (Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America)
- TDI (Telecommunications for the Deaf and Hard of Hearing, Inc.)
- W3C WAI (Web Accessibility Initiative)

教育機関 (英語のみ)

これらの例を含む多くの教育機関が、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供しています。

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、Center on Disabilities
- ウィスコンシン大学マディソン校、Trace Center
- ミネソタ大学、Computer Accommodations Program

障がいに関するその他のリソース（英語のみ）

これらの例を含む多くのリソースが、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供しています。

- ADA (Americans with Disabilities Act) Technical Assistance Program
- ILO Global Business and Disability Network
- EnableMart
- European Disability Forum (欧州障害フォーラム)
- Job Accommodation Network
- Microsoft Enable

HP のリンク

これらの HP 固有のリンクでは、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供されます。

[HP の『快適に使用していただくために』\(言語を選択してください \)](#)

[HP の公的機関への販売（米国向け）](#)

サポート窓口へのお問い合わせ

HP では、お身体の不自由なお客様向けにテクニカル サポートおよびユーザー サポート オプションを提供しています。



注記：サポートは英語でのみ提供されます。

- HP 製品のテクニカル サポートまたはユーザー サポートに関するご質問のある、耳の不自由なお客様は以下の操作を行ってください。
 - TRS/VRS/WebCapTel を使用して、(877) 656-7058 までお問い合わせください (月曜～金曜の 6:00～21:00、山岳標準時)。
- HP 製品のテクニカル サポートまたはユーザー サポートに関するご質問のある、その他のお身体の不自由なお客様、または年齢による身体的制限のあるお客様は以下の操作を行ってください。
 - (888) 259-5707 までお問い合わせください (月曜～金曜の 6:00～21:00、山岳標準時)。

索引

記号/数字

- 1本指スライド用タッチスクリーンジェスチャ 30
- 2本指スクロール用タッチパッドジェスチャ 28
- 2本指タップ用タッチパッドジェスチャ 28
- 2本指ピンチズーム用タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャ 28
- 3本指スワイプタッチパッドジェスチャ 29
- 3本指タップタッチパッドジェスチャ 28
- 4本指スワイプタッチパッドジェスチャ 29
- 4本指タップタッチパッドジェスチャ 29
- 508条のユーザー サポートに関する標準 88

A

- AT (支援技術)
 - 確認 87
 - 目的 86

B

- BIOS
 - 更新 72
 - 更新準備 73
 - 更新プログラムのダウンロード 73, 74
 - バージョンの確認 72
- Bluetooth デバイス 20, 23
- Bluetooth ラベル 18

C

- Caps Lock ランプ、位置 12
- Computer Setup
 - BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) 50-52
 - 移動および選択 71
 - 起動 71
 - 工場出荷時設定の復元 72

D

- DriveLock
 - 説明 55
 - 無効化 57
 - 有効化 56
- DriveLock の master password (マスター パスワード)
 - 変更 57
- DriveLock のセキュリティ オプション 53
- DriveLock パスワード
 - 設定 55
 - 入力 57
 - 変更 57

E

- esc キー、位置 14
- eSIM 22

F

- Fn Lock ランプ、位置 12
- fn キー、位置 15

G

- GPS 23

H

- HDMI オーディオ、構成 38
- HDMI オーディオ、設定 38
- HDMI ポート
 - 接続 37
- HDMI ポート、位置 7
- HD 対応デバイス、接続 37, 40
- [HOME]キー 17
- HP 3D DriveGuard 61
- HP Client Security 60
- HP LAN-Wireless Protection 25
- HP MAC Address Pass Through 26
- HP Recovery メディア リカバリ 68
- HP Sure Recover 69
- HP TechPulse 60
- HP 支援ポリシー 86

- HP ファスト チャージ 45
- HP モバイル ブロードバンド
 - IMEI 番号 21
 - MEID 番号 21
 - 有効化 21, 22
- HP リソース 2

I

- IMEI 番号 21
- International Association of Accessibility Professionals 87

M

- MEID 番号 21
- Miracast 40

N

- NFC 24

R

- [Remote HP PC Hardware Diagnostics UEFI] 設定
 - カスタマイズ 81
 - 使用 81

S

- Sure Start
 - 使用 75

T

- Thunderbolt、USB Type-C の接続 35
- Thunderbolt ポート (HP Sleep and Charge 付き)
 - USB Type-C の位置 6, 7
- TPM 設定 74

U

- UEFI 版の[HP PC Hardware Diagnostics]
 - [HP Hotkey Support] ソフトウェア 79
 - 起動 79
 - 使用 78

障害 ID コード 78
ダウンロード 80
USB Type-C Thunderbolt ポート
(HP Sleep and Charge 付き)
位置 6, 7
USB Type-C ポート、接続 34, 35, 41
USB Type-C ポートおよび
DisplayPort、USB Type-C の接
続 34
USB ポート、位置 6, 7

V

VGA コネクタ
接続 36

W

Windows
システムの復元ポイント 67
バックアップ 67
リカバリ メディア 67
Windows Hello
使用 58
Windows キー、位置 15
Windows ツール、使用 67
Windows 版の[HP PC Hardware
Diagnostics]
アクセス 76, 77
インストール 78
使用 76
障害 ID コード 76
ダウンロード 77

い

一時停止の操作キー 16
インストールされているソフト
ウェア、確認 5

う

ウィルス対策ソフトウェア 58

お

オーディオ 32
HDMI 38
音量の調整 16
サウンド設定 33
スピーカー 32
ヘッドセット 33
ヘッドフォン 33

オーディオ出力 (ヘッドフォン) /
オーディオ入力 (マイク) コン
ボ コネクタ、位置 8
音量
調整 16
ミュート (消音) 16

か

回復および復元方法 68
外部電源、使用 47
各部
裏面 17
キーボードの各部 10
ディスプレイ 8
左側面 6
右側面 5
カスタマー サポート、ユーザー サ
ポート 90
カメラ 9
位置 9
使用 32
カメラ プライバシー カバー
使用 32
カメラ プライバシー カバー、位
置 9
カメラ ランプ、位置 9
画面切り替えの操作キー 16
画面の輝度の操作キー 16
完全なローバッテリ状態 45
管理者パスワード 49

き

キー
esc 14
fn 15
HOME 17
Windows 15
操作 15
キーボードおよび別売のマウス
使用 30
キーボードおよび別売のマウスの
使用 30
キーボードのバックライト
操作キー 16
企業無線 LAN 接続 21
規定情報
規定ラベル 18
無線認定/認証ラベル 18
機内モードキー 20
休止状態
開始 43

完全なローバッテリ状態での
開始 45
終了 43
近距離無線通信 (NFC) タップエ
リア 11
近距離無線通信 (NFC) タップエ
リア、位置 11

こ

公共無線 LAN 接続 21
高精度タッチパッド
使用 27
高精度タッチパッド ジェスチャ
2 本指スクロール 28
2 本指タップ 28
3 本指スワイプ 29
3 本指タップ 28
4 本指スワイプ 29
4 本指タップ 29
コネクタ
オーディオ出力 (ヘッドフォ
ン) / オーディオ入力 (マイ
ク) コンボ 8
コンピューターのお手入れ 62
コンピューターの清掃 62
HP Easy Clean 62
消毒 64
木製部材のお手入れ 64
汚れやごみの除去 63
コンピューターの送付 65
コンピューターの電源を切る 43
コンピューターの持ち運び 18,
65

さ

サービス ラベル、位置 18
再生の操作キー 16
サウンド
オーディオ を参照
サウンド設定、使用 33

し

ジェスチャ 29
支援技術 (AT)
確認 87
目的 86
システムの応答停止 43
システムの復元 68
システムの復元ポイント、作
成 67

自動 DriveLock
選択 53
無効化 54
有効化 53
自動 DriveLock パスワード
入力 54
指紋、登録 58
指紋認証システム 60
シャットダウン 43
出荷時に搭載されているバッテリ 46
仕様 83
シリアル番号、コンピューター 18

す

スピーカー
接続 32
スピーカー、位置 14
スピーカーの音量の操作キー 16
スリープ
開始 42
終了 42
スリープおよび休止状態、開始 42
スリープおよび休止状態の開始 42
スロット
セキュリティロックケーブル 6

せ

静電気の放電 85
製品名および製品番号、コンピューター 18
セキュリティロックケーブル 60
セキュリティロックケーブル用スロット、位置 6
セットアップユーティリティ
移動および選択 71
工場出荷時設定の復元 72

そ

操作キー 15
HOME 17
位置 15
一時停止 16
画面切り替え 16
画面の輝度 16

キーボードのバックライト 16
再生 16
使用 16
スピーカーの音量 16
プログラム可能 16
ミュート(消音) 16
ソフトウェア
ウイルス対策 58
ディスククリーンアップ 61
ディスクデフラグ 61
ファイアウォール 59
ソフトウェア更新プログラム、インストール 59

た

タッチスクリーンジェスチャ
1本指スライド 30
タッチパッド
使用 27
設定 10
タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャ 27
2本指ピンチズーム 28
タップ 27
タッチパッドジェスチャ
2本指スクロール 28
2本指タップ 28
3本指スワイプ 29
3本指タップ 28
4本指スワイプ 29
4本指タップ 29
タッチパッドゾーン、位置 11
タッチパッドの使用 27
タッチパッドボタン
位置 11

つ

通気孔、位置 5, 8, 18

て

[ディスククリーンアップ]ソフトウェア 61
[ディスクデフラグ]ソフトウェア 61
ディスプレイの各部 8
低ブルーライトモード 8
データ転送 40
電源
外付け 47

バッテリ 44
電源アイコン、使用 44
電源設定、使用 44
電源の管理 42
電源ボタン、位置 14, 15
電源ランプ 12

と

動作環境 83
特別なキー、使用 14

な

内蔵マイク、位置 9

に

入力電源 83

は

ハードウェア、確認 5
パスワード
BIOS管理者 50-52
管理者 49
ユーザー 49
パスワードの使用 49
バックアップ 67
バックアップ、作成 67
バッテリ
出荷時に搭載されている 46
情報の確認 45
節電 45
放電 45
ローバッテリ状態 45
ローバッテリ状態への対処 46
バッテリ充電残量 45
バッテリ情報、確認 45
バッテリ電源 44
バッテリランプ 6, 8

ひ

左側面の各部 6
ビデオ 34
DisplayPortデバイス 34
HDMIポート 37
Thunderboltポートデバイス 35
USB Type-C 34, 35
VGAコネクタ 36
無線ディスプレイ 40

表示状態 37
標準および法令、ユーザー サポート 88

ふ

ファイアウォール ソフトウェア 59
ブート順序 [f9]の画面を使用した変更 74
ブート順序、変更 69
復元 67
プログラムおよびドライバーの更新 62
プログラム可能な操作キー 16

へ

ヘッドセット、接続 33
ヘッドフォン、接続 33

ほ

ポート
HDMI 7, 37
USB SuperSpeed 6, 7
USB Type-C 41
USB Type-C Thunderbolt 6, 35
USB Type-C Thunderbolt ポート (HP Sleep and Charge 付き) 7
USB Type-C ポートおよび DisplayPort 34
VGA 36

ボタン
電源 14, 15
左のタッチパッド 11
右のタッチパッド 11

ホットキー
Scroll Lock 17
一時停止 17
使用 17
挿入 17
中断 17
プログラミング クエリ 17
マイクのミュート (消音) 16

ま

マイクのミュート (消音) キー、位置 16
マイクのミュート (消音) ランプ、位置 12

み

右側面の各部 5
ミュート (消音) の操作キー 16
ミュート (消音) ランプ、位置 12

む

無線 LAN アンテナ、位置 9
無線 LAN デバイス 18
無線 LAN への接続 21
無線 LAN ラベル 18
無線 WAN デバイス 20-22
無線アンテナ、位置 9
無線キー 20
無線コントロール
オペレーティングシステム 20
ボタン 20
無線認定/認証ラベル 18

無線ネットワーク (無線 LAN)
企業無線 LAN 接続 21
公共無線 LAN 接続 21
接続 21
動作範囲 21

無線ボタン 20
無線ランプ 20

め

メンテナンス
ディスク クリーンアップ 61
ディスク デフラグ 61
プログラムおよびドライバーの更新 62

も

モバイル事業者の設定
確認 22
モバイル ブロードバンド
IMEI 番号 21
MEID 番号 21
有効化 21, 22

ゆ

ユーザー サポート 86, 87, 89, 90
ユーザー サポートに必要な評価 87
ユーザー パスワード 49

ら

ラベル
Bluetooth 18
規定 18
サービス 18
シリアル番号 18
無線 LAN 18
無線認定/認証 18
ランプ
Caps Lock 12
Fn Lock 12
外部電源アダプターおよびバッテリ 6, 8
カメラ 9
電源 12
バッテリ 6, 8
マイクのミュート (消音) 12
ランプ、ミュート (消音) 12

り

リカバリ 67, 68
USB フラッシュ ドライブ 68
ディスク 68
メディア 68
リカバリ メディア 67
[HP Cloud Recovery Download Tool]を使用した作成 67
Windows ツールを使用した作成 67
リソース、ユーザー サポート 89

ろ

ローバッテリ状態 45

わ

ワイヤレス ボタン 20